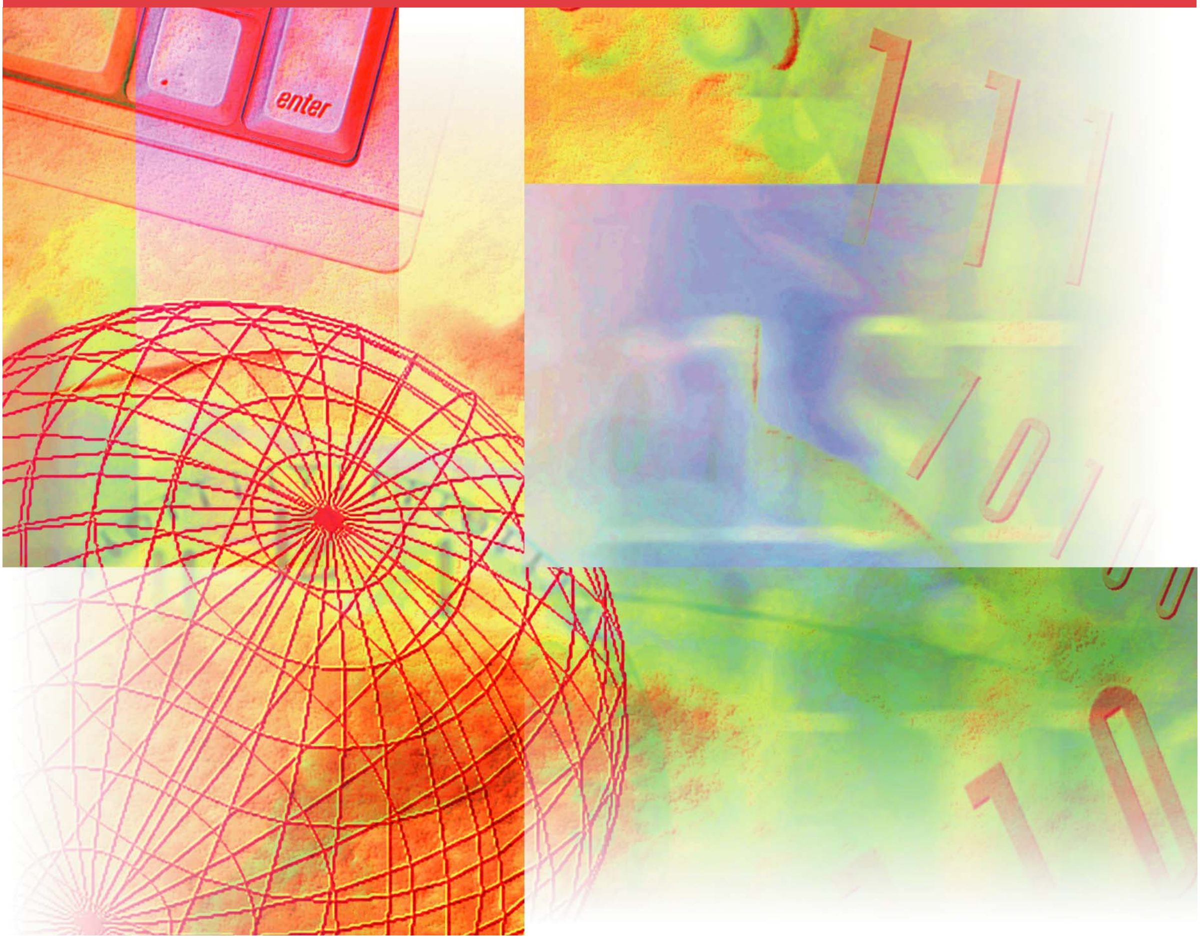
Canon

Satera MF8180

ファクスガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。
いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に含まれている PDF マニュアルです。

• 製品の設定方法については • ソフトウェアのインストールについて知るには • ネットワークの設定方法について知るには	**スタートアップガイド**	紙マニュアル
• コピーおよびプリントに関する説明については • 困ったときには	**ユーザーズガイド**	紙マニュアル
• ファクスに関する説明については • 困ったときには	**ファクスガイド（本書）**	紙マニュアル
• ソフトウェアのインストールおよび説明については • プリントおよびスキャナ動作について知るには • 困ったときには	**ソフトウェアガイド**	CD-ROM
• リモート UI に関する説明については	**リモート UI ガイド**	CD-ROM
• ネットワークの接続と設定方法については	**ネットワークガイド**	CD-ROM

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 本書は、改良のため画面等は予告なく変更されることがあります。正確な仕様が必要な場合はキヤノンまでお問い合わせください。
- 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。

ファクスガイドの構成について

目次

第 4 章　送信するには

第 5 章　受信するには

第 6 章　各種レポート／リストをプリントする

はじめに

このたびは Canon Satera MF8180 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。また、お読みいただいた後もいつでも使用できるよう大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、本製品を使用する上で安全のためにお守りいただきたいことや役に立つ情報に、下記のマークを付けています。

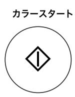
重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

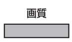
キーの表記について

本書では、キー名称とキー操作を以下のように表しています。

- 操作パネル上のキーは、[カラースタート] のように [　] で表しています。



[カラースタート] を押します。



[画質] を押します。

お使いになる前に

1 CHAPTER

本製品を使ってできること、ご利用の前に知っていただきたいことについて説明します。

こんなことができます

本製品には、通常の送受信だけでなく、利用目的に合わせてさまざまな機能があります。

■ 原稿に合わせて画質や濃度を選べます。（→ P.4-5「画質を調節する」）

■ 受信のしかた（自動・手動）を選べます。（→ P.5-1「受信モードを設定する」）

■ 操作を簡略できるいろいろなダイヤル機能

宛先登録をしておくと、簡単なキー操作でファクス送信ができます。

- ワンタッチダイヤルを登録する（→ P.3-2）
- 短縮ダイヤルを登録する（→ P.3-5）
- グループダイヤルを登録する（→ P.3-7）

宛先登録しておくと、電話帳を使って名前から検索ができて便利です。

- 電話帳でダイヤルする（→ P.4-9）

■ 各種サービスが利用できる

- プッシュホンサービスを利用できます。（→ P.4-17「一時的に PB 発信に切り替える」）

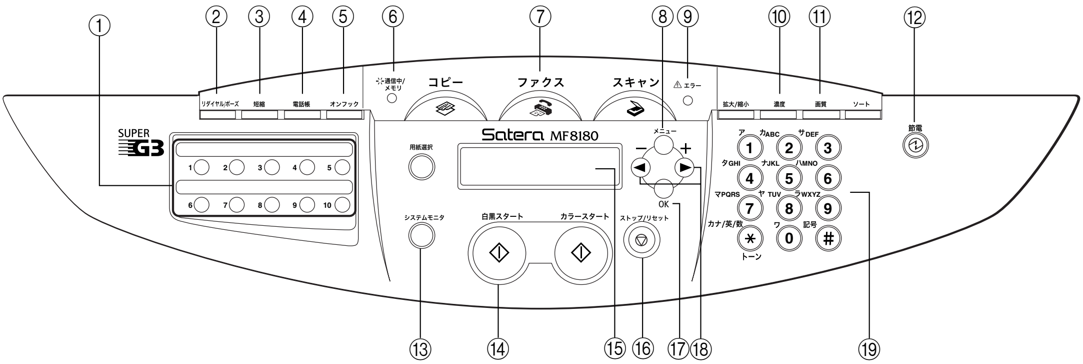
■ 送受信登録内容をレポートで確認できる

- 各種レポートをプリントできます。（→ P.6-1「本製品でプリントできるレポート／リスト」）

操作パネル各部の名称とはたらき

ファクスの送受信やメニュー設定に使用するキーについて説明します。ユーザーズガイド「第１章　操作パネル各部の名称とはたらき」も合わせて参照してください。

ワンタッチダイヤルパネルを閉じた状態



① **ワンタッチダイヤル**

ワンタッチダイヤルキーに登録したファクス／電話番号にダイヤルするときに押します。

② **リダイヤル／ポーズ**

電話番号入力中はポーズ挿入、ファクス待機中はリダイヤルのキーになります。

③ **短縮**

短縮ダイヤルを使うときに押します。

④ **電話帳**

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録した相手先を検索してダイヤルするときに押します。

⑤ **オンフック**

ファクス情報サービスなど、相手の応答を聞きながら送受信するときに押します。

⑥ **通信中／メモリランプ**

本製品が動作中は点滅、コピー動作中やメモリ内に文書があるときは点灯します。

⑦ **ファクス**

ファクスモードに切り替えます。一定時間操作を行わないとコピーモードに戻ります。

⑧ **メニュー**

設定メニューを表示します。一定時間操作を行わないとコピーモードに戻ります。

⑨ **エラーランプ**

本製品にトラブルが発生したときに点滅します。エラーの内容はディスプレイに表示されます。

⑩ **濃度**

コピーモード、ファクスモードのときに濃度を選択することができます。

⑪ **画質**

コピーモード、ファクスモードのときに画質を選ぶことができます。

⑫ **節電**

節電モードにするとき／解除するときに押します。節電モード中は、［節電］のみが点灯し、その他は消灯します。

⑬ **システムモニタ**

コピー、ファクス、印刷、レポート印刷などの処理状況をチェックするときに押します。

⑭ **白黒スタート**

ファクスの受信や送信を開始するときや、白黒コピーをするときに押します。

⑮ **ディスプレイ**

コピー機能やファクス機能の基本画面、各種設定画面が表示されます。

⑯ **ストップ／リセット**

各種設定画面から待受画面に戻るときや、ファクスの送受信を止めるときに押します。

⑰**OK**

登録や設定の内容を確認／確定するときに押します。

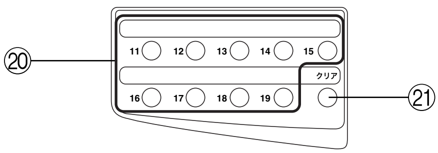
⑱**[◀ (-)][▶ (+)]**

項目を検索するときや設定内容を確認するときに押します。

⑲ **テンキー**

数字や文字を入力するときに押します。

ワンタッチダイヤルパネルを開いた状態



⑳ **ワンタッチダイヤル**

ワンタッチダイヤルキーに登録したファクス／電話番号にダイヤルするときに押します。

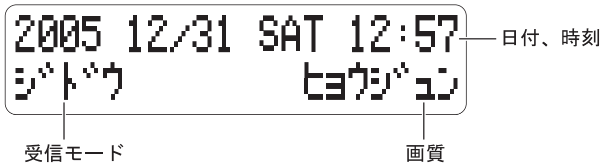
㉑ **クリア**

文字入力の際、文字を削除するとき押します。

ディスプレイの表示について

待受画面は選択したモードによって異なります。

下の図はファクスモードの待受画面です。



メモ

- コピーモード、スキャンモードの待受画面については「ユーザーズガイド」の「第１章　ディスプレイの表示について」を参照してください。

2
CHAPTER

基本情報を登録する

ファクスの送受信に必要な基本情報を登録する方法について説明します。

文字を入力する

名称の入力を促す画面が表示されたら、次のように文字を入力してください。

文字の入力は操作パネルのテンキーを使います。

メモ
- 以下ではカナとアルファベットの入力方法を説明します。数字を入力するときは、［＊］を押して< :1 >を選択し、入力したい数字のテンキーを押します。

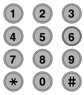
カナを入力する

例：「トウキョウ」と入力します。

1 画面入力モードが< :ア>になっていることを確認します。

入力モードは［＊］を押すたびに、カナ→アルファベット→数字と変わり、数字の次は最初のカナに戻ります。

```
ナマエ                    :ア
_
```



2 入力する文字をテンキーで選択します。

キーを押すたびに、次の表で示した順に文字が切り替わります。

キー	入力される文字
ア 1	アイウエオァィゥェォ
カABC 2	カキクケコ
サDEF 3	サシスセソ
タGHI 4	タチツテトッ
ナJKL 5	ナニヌネノ
ハMNO 6	ハヒフヘホ
マPQRS 7	マミムメモ
ヤTUV 8	ヤユヨャュョ
ラWXYZ 9	ラリルレロ
ワ 0	ワヲン
記号 #	゛゜ー

「トウキョウ」と入力するときは、次のように押します。

4 4 4 4 4 →ト

1 1 1 →ウ

2 2 →キ

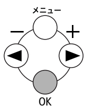
8 8 8 8 8 8 →ヨ

1 1 1 →ウ

「トウキョウ」と表示されます。

```
ナマエ                    :ア
トウキョウ
```

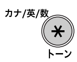
メモ
- スペースを入れたいときには［▶(+)］を押します。
- カーソルは［◀(-)］［▶(+)］を押すと移動させることができます。
- 同じキーの文字を続けて入力するときは、［▶(+)］を押してカーソルを右へ移動します。
- 入力を間違えたときは、［◀(-)］［▶(+)］と［クリア］を使って間違えた文字を消去してから入力し直します。
- ［クリア］を長く押して、入力した文字をすべて削除することもできます。
- 登録できる名称の文字種や文字数は設定する内容によって異なります。



3 すべての文字を入力したあと、［OK］を押します。

アルファベットを入力する

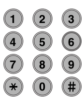
例：「Tokyo」と入力します。



1 ［⁎］を押して、< :A >を選択します。

入力モードは［⁎］を押すたびに、カナ→アルファベット→数字と変わり、数字の次は最初のカナに戻ります。

```
ナマエ                    :A
_
```



2 入力する文字をテンキーで選択します。

キーを押すたびに、次の表で示した順に文字が切り替わります。表にあるように［1］、[#]を押すことで記号を入力することもできます。

キー	入力される文字
ア 1	@.-_/
カABC 2	ABCabc

サDEF 3	DEFdef
タGHI 4	GHIghi
ナJKL 5	JKLjkl
ハMNO 6	MNOmno
マPQRS 7	PQRSpqrs
ヤTUV 8	TUVtuv
ラWXYZ 9	WXYZwxyz
ワ 0	「　　」（スペース）
記号 #	-.*#!",;:^'_=/|'?$@%&+¥()[ ]{ }< >

「Tokyo」と入力するときは、次のように押します。

ヤTUV 8 → T

ハMNO 6 ハMNO 6 ハMNO 6 ハMNO 6 ハMNO 6 ハMNO 6 → o

ナJKL 5 ナJKL 5 ナJKL 5 ナJKL 5 ナJKL 5 → k

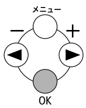
ラWXYZ 9 ラWXYZ 9 ラWXYZ 9 ラWXYZ 9 ラWXYZ 9 ラWXYZ 9 ラWXYZ 9 → y

ハMNO 6 ハMNO 6 ハMNO 6 ハMNO 6 ハMNO 6 ハMNO 6 → o

「Tokyo」と表示されます。

```
ナマエ                    :A
Tokyo
```

メモ
- スペースを入れたいときには［▶(+)］を押します。
- カーソルは［◀(-)］［▶(+)］を押すと移動させることができます。
- 同じキーの文字を続けて入力するときは、［▶(+)］を押してカーソルを右へ移動します。
- 入力を間違えたときは、［◀(-)］［▶(+)］と［クリア］を使って間違えた文字を消去して入力し直します。
- ［クリア］を長く押して、入力した文字をすべて削除することもできます。
- 登録できる名称の文字種や文字数は設定する内容によって異なります。



3 **すべての文字を入力したあと、［OK］を押します。**

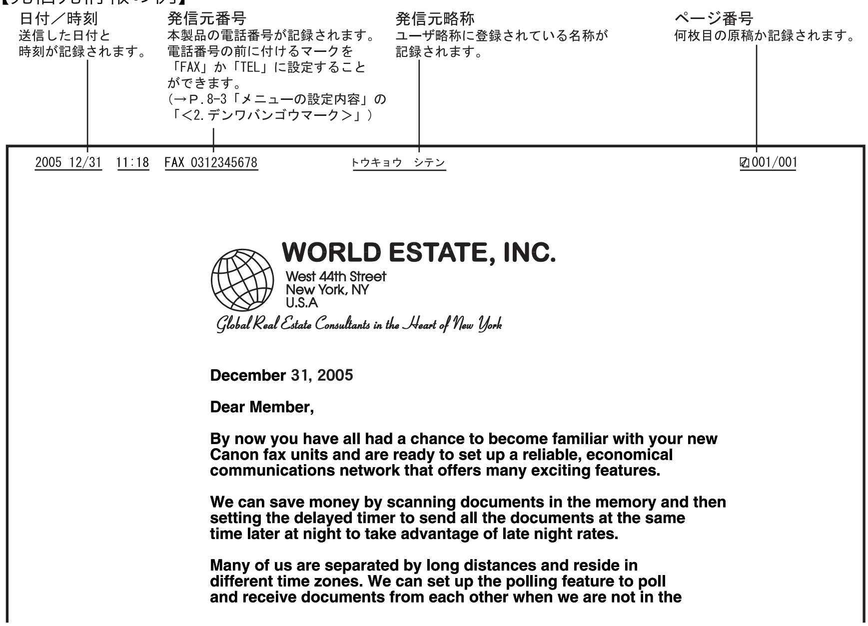
発信元の情報を登録する

相手先の記録紙に印字される発信元の情報（電話番号やユーザ略称、日付／時刻など）を登録します。

発信元情報とは

発信元情報は、以下のように相手先の記録紙上部にプリントされます。

【発信元情報の例】



WORLD ESTATE, INC.
West 44th Street
New York, NY
U.S.A
Global Real Estate Consultants in the Heart of New York

December 31, 2005

Dear Member,

By now you have all had a chance to become familiar with your new Canon fax units and are ready to set up a reliable, economical communications network that offers many exciting features.

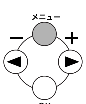
We can save money by scanning documents in the memory and then setting the delayed timer to send all the documents at the same time later at night to take advantage of late night rates.

Many of us are separated by long distances and reside in different time zones. We can set up the polling feature to poll and receive documents from each other when we are not in the

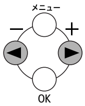
メモ

- 発信元情報のプリント位置は、読み取り可能範囲の内側／外側のどちらにも設定可能です。（→ P.8-3「メニューの設定内容」の＜ 1．ハッシンモト　キロク　イチ＞）
- ユーザデータリストをプリントして、現在の設定内容を確認することができます。（→ P.6-9「ユーザデータリストをプリントする」）
- 発信元情報を表示させないように設定することもできます。（→ P.8-3「メニューの設定内容」の＜ 3．ハッシンモト　キロク＞）

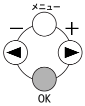
日付／時刻を登録する



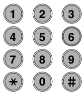
1 ［メニュー］を押します。



2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して< 8. タイマー　セッテイ>を選択し、[OK] を押します。**



3 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して< 1. ヒヅケ/ジコク　セット>を選択し、[OK] を押します。**



4 **テンキーで日付（年/月/日）と時刻（24 時間表示）を入力し、[OK] を押します。**

【例】

```
ヒヅケ/ジコク セット
'05 12/31 13:15
```

▶

```
タイマー セッテイ
 2.ヒヅケ/ジコク タイプ
```

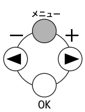
年の最後２桁の数字のみ入力します。

メモ
- お買い求めのときには日付の表示順は YYYY MM/DD になっています。MM/DD/YYYY、DD/MM YYYY に変更することもできます。(→「ユーザーズガイド」「第 10 章　各種機能を登録する／設定する」)
- 時刻表示はあくまで目安としてご利用ください。
  誤差が生じた場合は設定し直してください。(時間精度：平均月差± 60 秒以内)
- 数字を訂正する場合は［◀ (-)］または［▶ (+)］を押して訂正したい数字の下にカーソルを移動させて、正しい数字を入力し直してください。

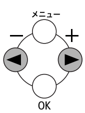


5 **[ストップ/リセット] で待受画面に戻ります。**

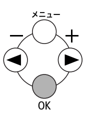
発信元番号と発信元略称を登録する



1 **[メニュー] を押します。**



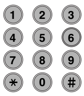
2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して< 4. ファクス　シヨウ　セッテイ>を選択し、[OK] を押します。**



3 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して< 2. キホン　セッテイ>を選択し、[OK] を押します。**

4 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して< 1. デンワ　カイセン　セッテイ>を選択し、[OK] を押します。

5 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して< 1. ユーザ　TEL　トウロク>を選択し、[OK] を押します。



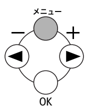
6 テンキーでファクス／電話番号（スペースを含め最大 20 桁）を入力し、[OK] を押します。

【例】

ユーザ゛ TEL トウロク 0312345678	▶	デ゛ンワ カイセン セッテイ 2. カイセン シュルイ センタク

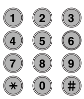
数字の前にプラス記号 (+) を入力するには、[#] を押してください。

直前に入力した数字を削除するには［クリア］または［◀ (-)］を押します。入力した数字すべて削除するには［クリア］を長く押します。



7 [メニュー] を押します。

8 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して< 2. ユーザ　リャクショウ　トウロク>を選択し、[OK] を押します。



9 テンキーで名前（スペースを含め最大 24 文字）を入力し、[OK] を押します。

【例】

ユーザ゛ リャクショウ トウロク　:ア トウキョウ シテン	▶	キホン セッテイ 3. ハッシンモト キロク



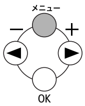
10 [ストップ／リセット] を押して、待受画面に戻ります。

電話回線の種類を設定する

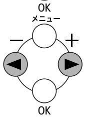
本製品を使用する前に、電話回線の種類が正しく設定されていることを確認してください。電話回線の種類が不明な場合は、電話会社にお問い合わせください。

メモ
- ユーザデータリストをプリントして、現在の設定を確認することができます。（→P.6-9「ユーザデータリストをプリントする」）

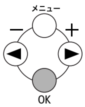
次の手順に従って、電話回線の種類を設定します。



1 **［メニュー］を押します。**



2 **［◀ (-)］または［▶ (+)］を押して＜4．ファクス　シヨウ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。**



3 **［◀ (-)］または［▶ (+)］を押して＜2．キホン　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。**

4 **［◀ (-)］または［▶ (+)］を押して＜1．デンワ　カイセン　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。**

5 **［◀ (-)］または［▶ (+)］を押して＜2．カイセン　シュルイ　センタク＞を選択し、［OK］を押します。**

6 **［◀ (-)］または［▶ (+)］を押して電話回線の種類を選択し、［OK］を押します。**

次の項目から選択できます。

・プッシュ回線（PB 回線）の場合は＜プッシュ　カイセン＞
・アナログ回線（DP 回線）の場合は＜ダイヤル　カイセン＞
　＜ダイヤル　カイセン＞を選択した場合、回線速度を＜ 20PPS ＞か＜ 10PPS ＞から選択します。（初期設定は＜ 20PPS ＞）



7 ［ストップ／リセット］を押して、待受画面に戻ります。

宛先登録機能

3
CHAPTER

本製品には 3 種類の宛先登録機能があります。宛先登録で相手先の名前と番号を登録しておくと、簡単な操作でダイヤルできるようになります。登録した相手先の一覧をプリントすることもできます。

宛先登録の種類

宛先登録をすると、簡単な操作でファクス／電話番号をダイヤルできます。

宛先登録には次の 3 種類があります。

■ **ワンタッチダイヤル**

ワンタッチダイヤルにファクス／電話番号を登録すると（→ P.3-2「ワンタッチダイヤルを登録する」）、ワンタッチダイヤルキーを押すだけで登録した相手先にダイヤルできます。

■ **短縮ダイヤル**

短縮ダイヤルにファクス／電話番号を登録すると（→ P.3-5「短縮ダイヤルを登録する」）［短縮］と 2 桁の短縮番号を押すだけで登録した相手先にダイヤルできます。

■ **グループダイヤル**

ワンタッチダイヤルキーまたは短縮ダイヤル番号に複数のファクス／電話番号を登録することができます。登録できる番号はあらかじめワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されている番号のみです。（→ P.3-7「グループダイヤルを登録する」）

メモ
- 宛先名は登録しなくても操作できます。
- 登録したファクス／電話番号リストを時折プリントし、いつでも確認できるように控えておくことをお勧めします。（→ P.3-10「ダイヤルリストをプリントする」）

ワンタッチダイヤルを登録する

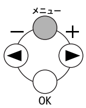
ワンタッチダイヤルでダイヤルするには、あらかじめ相手先のファクス／電話番号を登録する必要があります。（→ P.4-8「ワンタッチダイヤルでダイヤルする」）

本製品のワンタッチダイヤルには、最大 19 箇所のファクス／電話番号を登録できます。グループダイヤル番号を登録することもできます。

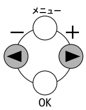
メモ

- 各ワンタッチダイヤルキーには、複数のファクス／電話番号を登録できます。（→ P.3-7「グループダイヤルを登録する」）
- ワンタッチダイヤルにファクス／電話番号を登録される際は、番号をお間違えのないようにご注意願います。誤った番号を登録すると、誤送信や迷惑電話の原因となる場合があります。

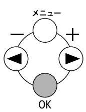
以下の手順に従って、ワンタッチダイヤルを登録します。



1 **［メニュー］を押します。**



2 **［◀ (-)］または［▶ (+)］を押して＜ 5．アテサキ　トウロク＞を選択し、［OK］を押します。**

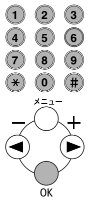


3 **［◀ (-)］または［▶ (+)］を押して＜ 1．ワンタッチ　ダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。**

4 **［◀ (-)］または［▶ (+)］を押してワンタッチダイヤル（01 ～ 19）を選択し、［OK］を押します。**

ワンタッチダイヤルキーを直接押して選択することもできます。

5 **［◀ (-) ］または［▶ (+)］を押して＜ 1．デンワバンゴウ＞を選択し、［OK］を押します。**



6 テンキーでファクス／電話番号（スペースとポーズを含め最大 120 桁）を入力し、［OK］を 2 回押します。

【例】

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ        ▶  ワンタッチ ダ゛イヤル
0451234567                  2.ナマエ
```

7 テンキーを使い、ワンタッチダイヤルキーに登録する名前（スペースを含め最大 16 文字以内）を入力し、［OK］を押します。

【例】

```
ナマエ              :ア    ▶  ワンタッチ ダ゛イヤル
セイサク 2カ                 [01]セイサク 2カ
```

引き続きワンタッチダイヤルを登録する場合は、手順 4 ～ 7 を繰り返します。



8 ［ストップ／リセット］を押して、待受画面に戻ります。

メモ
- 登録後は、宛先ラベルに相手先の名前を記入し、ワンタッチダイヤルキーの上のワンタッチダイヤルパネルに貼ることをお勧めします。

ワンタッチダイヤルの登録内容を変更／削除する

■ 番号を変更する

「ワンタッチダイヤルを登録する」（→ P.3-2）の手順 1 ～ 5 を行います。
手順 6 で［◀ (-)］または［クリア］を押して番号を削除した後テンキーで新しい番号を入力し、［OK］を押してから［ストップ／リセット］を押して、待受画面に戻ります。

メモ
- ［クリア］を長押しすると、入力した番号をすべて削除できます。
- ワンタッチダイヤルにファクス／電話番号を登録される際は、番号をお間違えのないようにご注意願います。誤った番号を登録すると、誤送信や迷惑電話の原因となる場合があります。

■ 名前を変更する

「ワンタッチダイヤルを登録する」（→ P.3-2）の手順 1 ～ 6 を行います。
手順 7 で［クリア］を押して名前を削除し、テンキーで新しい名前を入力し、［OK］を押してから［ストップ／リセット］を押して、待受画面に戻ります。

メモ
- ［クリア］を長押しすると、入力した名前をすべて削除できます。

■ 登録を削除する

「ワンタッチダイヤルを登録する」（→ P.3-2）の手順 1 〜 5 を行います。
手順 6 で［◀ (-)］または［クリア］を押して番号を削除し、［OK］を押してから［ストップ／リセット］を押して、待受画面に戻ります。

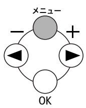
メモ
- 番号を削除すると、名前も自動的に削除されます。
- ［クリア］を長押しすると、入力した番号をすべて削除できます。

短縮ダイヤルを登録する

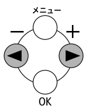
短縮ダイヤルでダイヤルするには、あらかじめ相手先のファクス／電話番号を登録する必要があります。（→ P.4-8「短縮ダイヤルでダイヤルする」）

本製品の短縮ダイヤルには、最大 100 箇所のファクス／電話番号を登録できます。グループダイヤル番号を登録することもできます。

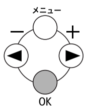
以下の手順に従って、短縮ダイヤルを登録します。



1 **［メニュー］を押します。**



2 **［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押して < 5．アテサキ　トウロク > を選択し、［OK］を押します。**

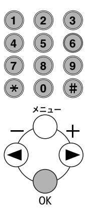


3 **［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押して < 2．タンシュク　ダイヤル > を選択し、［OK］を押します。**

4 **［◀ (-) ］または［ ▶ (+) ］を押して短縮番号（00 ～ 99）を選択し、［OK］を押します。**

［短縮］を押して、テンキーから 2 桁の短縮番号を入力しても選択できます。

5 **［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押して < 1．デンワバンゴウ > を選択し、［OK］を押します。**



6 **テンキーでファクス／電話番号（スペースとポーズを含め最大 120 桁）を入力し、［OK］を 2 回押します。**

【例】

デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ	▶	タンシュク　ダ゛イヤル
0451234567		2. ナマエ

7 テンキーで登録する名前（スペースを含め最大 16 文字以内）を入力し、［OK］を 2 回押します。

【例】

```
ナマエ                    :ア
セイサク 2カ
```

▶

```
タンシュク ダ゛イヤル
［*02］セイサク   2カ
```

引き続き短縮ダイヤルを登録する場合は、手順 4 〜 7 を繰り返します。



8 ［ストップ／リセット］を押して、待受画面に戻ります。

短縮ダイヤルの登録内容を変更／削除する

■ 番号を変更する

「短縮ダイヤルを登録する」（→ P.3-5）の手順 1 〜 5 を行います。
手順 6 で［◀（-）］または［クリア］を押して番号を削除し、テンキーで新しい番号を入力した後、［OK］を押してから［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

メモ
- ［クリア］を長押しすると、入力した番号をすべて削除できます。
- 短縮ダイヤルにファクス／電話番号を登録される際は、お間違えのないようにお願いします。誤った番号を登録すると、誤送信や迷惑電話の原因となる場合があります。

■ 名前を変更する

「短縮ダイヤルを登録する」（→ P.3-5）の手順 1 〜 6 を行います。
手順 7 で［クリア］を押して名前を削除し、テンキーで新しい名前を入力し、［OK］を押してから［ストップ／リセット］を押して、待受画面に戻ります。

メモ
- ［クリア］を長押しすると、入力した名前をすべて削除できます。

■ 登録を削除する

「短縮ダイヤルを登録する」（→ P.3-5）の手順 1 〜 5 を行います。
手順 6 で［◀（-）］または［クリア］を押して番号を削除し、［OK］を押してから［ストップ／リセット］を押して、待受画面に戻ります。

メモ
- 登録番号を削除すると、名前も自動的に削除されます。
- ［クリア］を長押しすると、入力した番号をすべて削除できます。

グループダイヤルを登録する

グループダイヤルをご使用になる前に、相手先（受信者）のファクス／電話番号をあらかじめ登録しておく必要があります。（→ P.4-8「グループダイヤルでダイヤルする」）

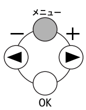
ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルをいくつかのグループにまとめて、グループダイヤルとして登録することができます。空いているワンタッチダイヤルキー、または短縮ダイヤルキーに登録できます。

グループダイヤルは、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルと合わせて、最大 118 件まで登録できます。ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを 1 件登録するごとに、登録可能なグループダイヤル件数は 1 件ずつ減ります。

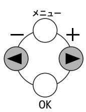
メモ

- 入力できるファクス／電話番号は、あらかじめ登録されたワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルの番号だけです。登録方法は以下を参照してください。
  - ・（→ P.3-2「ワンタッチダイヤルを登録する」）
  - ・（→ P.3-5「短縮ダイヤルを登録する」）
- 数字の入力にテンキーを使用することはできません。

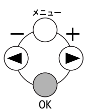
以下の手順に従って、グループダイヤルを登録します。



1 **［メニュー］を押します。**



2 **［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押して＜ 5. アテサキ　トウロク＞を選択し、［OK］を押します。**



3 **［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押して＜ 3. グループ　ダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。**

4 **未登録のワンタッチダイヤルキーあるいは短縮ダイヤルキーを選択します。**

● ワンタッチダイヤルにグループを登録する場合

▼ ［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押してワンタッチダイヤル（01 ～ 19）を選択し［OK］を押します。

登録したいキーを直接押して選択することもできます。

● 短縮ダイヤルにグループを登録する場合

▼ ［短縮］を押し、テンキーから 2 桁の番号を入力して［OK］を押します。

5 ［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押して＜ 1．デンワバンゴウ＞を選択し、［OK］を押します。

6 グループに登録したいワンタッチダイヤル番号／短縮ダイヤル番号を選択して［OK］を押します。

ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルに登録済みの番号をグループに登録します。

ワンタッチダイヤルに登録した電話番号をグループに登録する場合、該当のワンタッチダイヤルキーを押してください。

短縮ダイヤル番号を選択する場合［短縮］を押し、テンキーで短縮番号を入力します。複数の短縮番号を登録するときは、それぞれの短縮番号の前に［短縮］を押してください。

メモ
- 入力した名前を確認するには、［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押します。

7 ［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押して＜ 2．ナマエ＞を選択し、［OK］を押します。

8 テンキーでグループ名（スペースを含め最大 16 文字以内）を入力し、［OK］を押します。

【例】

ナマエ　:ア シテンAグ゛ルーフ゜	▶	グ゛ルーフ゜ タ゛イヤル ［11］ グ゛ルーフ゜ タ゛イヤル

引き続きグループダイヤルを登録する場合は、手順 4 ～ 6 を繰り返します。

メモ
- 登録した相手先の一覧は、グループダイヤルリストをプリントして確認できます。（→ P.3-10「ダイヤルリストをプリントする」）



9 ［ストップ／リセット］を押して、待受画面に戻ります。

グループダイヤルの登録内容を変更／削除する

■ **グループからファクス／電話番号を削除する**

「グループダイヤルを登録する」（→ P.3-7）の手順 1 〜 5 を行います。
手順 6 で［◀（-)］または［ ▶（+)］を押して削除したい番号を表示し、［クリア］を押した後、［OK］を押してから［ストップ／リセット］を押して、待受画面に戻ります。

■ **グループにファクス／電話番号を追加する**

「グループダイヤルを登録する」（→ P.3-7）の手順 1 〜 5 を行います。
手順 6 で、説明に従って追加する番号を入力します。

■ **名前を変更する**

「グループダイヤルを登録する」（→ P.3-7）の手順 1 〜 7 を行います。
手順 8 で［クリア］を押して名前を削除し、テンキーで新しい名前を入力し、［OK］を押してから［ストップ／リセット］を押して、待受画面に戻ります。

■ **グループごと削除する**

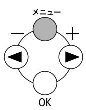
「グループダイヤルを登録する」（→ P.3-7）の手順 1 〜 5 を行います。
手順 6 で、すべての番号が削除されるまで［クリア］を繰り返し押して、［OK］を押してから［ストップ／リセット］を押して、待受画面に戻ります。

メモ
- すべての番号を削除すると、グループ名も自動的に削除されます。

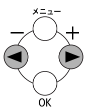
ダイヤルリストをプリントする

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルでダイヤル登録した相手先の一覧をプリントすることができます。本製品の近くにダイヤルリストを置いて、ダイヤル時に参照すると便利です。

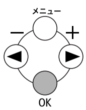
以下の手順に従って、ダイヤルリストをプリントします。



1 **[メニュー] を押します。**



2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して< 9. レポート/リスト>を選択し、[OK] を押します。**



3 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して< 2. ダイヤルリスト>を選択し、[OK] を押します。**

4 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押してプリントしたいリストを選択し、[OK] を押します。**

次の項目から選択できます。

・< 1. ワンタッチ　ダイヤルリスト 1 >
・< 2. タンシュク　ダイヤルリスト 1 >
・< 3. グループ　ダイヤルリスト>

以下はダイヤルリストの例です。

■ **ワンタッチダイヤルリスト**

2005 12/31　16:10　FAX　033333333　　キヤノン　　001

****
***　ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ　***
****

番号	相手先ｱﾄﾞﾚｽ	相手先略称
[01]	0312343333	ｴｲｷﾞｮｳ
[02]	0312342222	ｶｲﾊﾂ2
[03]	0488123456	ｻｲﾀﾏ ｼﾃﾝ
[04]	ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ	ｼﾃﾝAｸﾞﾙｰﾌﾟ

■ 短縮ダイヤルリスト

2005 12/31 16:10 FAX 0333333333 キヤノン 001

****
*** 短縮ダイヤルリスト ***
****

番号	相手先アドレス	相手先略称
[* 01]	0488123456	サイタマ
[* 02]	0521234567	トウカイ
[* 03]	0762123456	ホクリク
[* 04]	0111234567	ホッカイドウ

■ グループダイヤルリスト

2005 12/31 16:20 FAX 0333333333 キヤノン 001

****
*** グループダイヤルリスト ***
****

[07]	シテンAグループ	[01] 0112341111	サッポロ シテン
		[02] 0312345678	トウキョウ シテン
[08]	シテンBグループ	[03] 0312342222	カイハツ2
		[04] 0312343333	エイギョウ

送信するには

4
CHAPTER

ファクスの送信方法を説明します。画質を向上させるための設定もあわせて説明します。

送信方法

本製品には 2 種類のファクス送信方法があります。

- メモリ送信
- 手動送信

メモ
- 原稿をコンピュータからファクスすることもできます。そのためのソフトウェアをインストールしたい場合には、以下を参照してください。
  ・本製品をローカルプリンタ、あるいはネットワークプリンタとして使用する場合
  –「スタートアップガイド（ネットワークで接続する）」
  –「ソフトウェアガイド」の「第 1 章　インストールする」
  ・コンピュータからファクスする場合
  –「ソフトウェアガイド」の「第 4 章　コンピュータからファクス送信する」
- 本製品から送信できるファクスの原稿長は、10.5 cm ～ 1 m です。

メモリ送信

原稿を効率的に送信するために、通常はメモリ送信の使用をお勧めします。

＜メモリガ　イッパイデス＞が表示された場合は、原稿の読み込みはできません。この場合、メモリに蓄積されているファクスの送信が済むまで待ってから、再度原稿を読み込ませてください。

メモ

- 相手先番号の自動リダイヤル待機中、次に送信するファクス番号を登録できます。自動リダイヤルの設定方法に関する詳細については、「自動リダイヤル」（→ P.4-11）を参照してください。
- 本体のメモリは、最大 20 件のファクス送信または約 256 ページ分 * のデータを蓄積できます。

  * Satera MF8180 でのキャノン FAX 標準チャート No.1 を標準画質（8 × 3.85 本／ mm）にて MH 符号化方式により蓄積した場合の枚数です。メモリに蓄積できる最大のページ数は、送信側のファクス原稿によって異なる場合があります。（キャノン FAX 標準チャート：電気通信に関する国際的な標準化を目的に作成された原稿）

次の手順に従って、メモリ送信を行います。



1 原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットし、[ファクス] を押します。

ファクス送信できる原稿の種類、要件、セット方法に関する詳細については、「ユーザーズガイド」の「第３章　原稿の取り扱い」を参照してください。

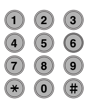
メモ

- 原稿の右端、左端各約 1.0 mm は本製品で読み込みできない範囲です。読み込みできない範囲にはみ出した文字や画像はファクスで送信されません。

2 必要に応じて、原稿に合わせて設定を変更します。

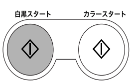
・ファクスの解像度を選択する場合は、[画質] を押します。（→ P.4-5「画質を変更する（ファクス解像度）」）

・読み取り濃度を選択する場合は、[濃度] を押します。（→ P.4-6「濃度（濃さ）を調節する」）



3 相手先のファクス／電話番号をダイヤルします。

ダイヤル方法に関する詳細については、「ダイヤルするには」（→ P.4-7）を参照してください。



4 [白黒スタート] を押します。

ADF に原稿をセットした場合は、読み込みが終了するとすぐに送信されます。（→ P.8-4「メニューの設定内容」の ＜ 4. ダイヤルタイムアウト＞）

原稿台ガラスを使用している場合、読み取りが終了するとディスプレイに原稿を取り替えるよう表示が出ます。次のページをセットし（複数ページの原稿の場合）、[白黒スタート] を押します。

```
ツギ゛ノ ペ゜ージ゛        :スタート
ヨミトリ シュウリョウ        :OK
```

すべての原稿が読み込まれたら、[OK] を押します。

メモ
- メモリ送信を解除する場合は、[ストップ/リセット] を押します。送信中の場合、＜ソウシンヲ　チュウシ　シマスカ？＞とディスプレイに表示されたら、[◀ (-)] を押して＜ハイ＞を選択してください。[システムモニタ] キーからも解除することができます。(→「ユーザーズガイド」の「第７章　システムモニタでジョブを確認する」)
- 読み込みの途中で原稿を排出したい場合は、[ストップ/リセット] を押して [OK] を押します。[システムモニタ] キーを押しても原稿は排出できません。

手動送信

ファクスを送信する前に相手と通話する場合、または相手がファクス自動受信できない場合は、手動送信を行います。

メモ
- 送信の前に相手と通話するには、本製品に電話機を接続する必要があります。
- 手動送信には、原稿台ガラスは使用できません。

次の手順に従って、手動送信を行います。

1 ファクスを送信する前に相手と通話する場合は、本製品に電話機を接続します。

電話機の接続方法に関する詳細については、「スタートアップガイド」の「電話線を接続する」を参照してください。



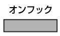
2 ADF に原稿をセットし、[ファクス] を押します。

ファクス送信できる原稿の種類、セット方法に関する詳細については、「ユーザーズガイド」の「第３章　原稿の取り扱い」を参照してください。

メモ
- 原稿の左端、右端各約 1.0 mm は本製品で読み込みできない範囲です。読み込みできない範囲にはみ出した文字や画像はファクスで送信されません。
- [ファクス] を押したあと一定時間操作を行わないと、＜2. キョウツウ　キノウ　セッテイ＞の＜ 1. ショキ　モード＞で設定した初期モードに戻ります。(お買い求めのときはコピーモードに設定されています。)

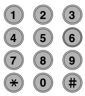
3 必要に応じて、原稿に合わせて設定を変更します。

・ファクスの解像度を選択する場合は、[画質] を押します。(→ P.4-5「画質を変更する (ファクス解像度)」)
・読み取り濃度を選択する場合は、[濃度] を押します。(→ P.4-6「濃度 (濃さ) を調節する」)



4 [オンフック] を押すか、電話機のハンドセットを取り上げます。

メモ
- 手動でダイヤルするときは、かならずダイヤルトーン(ツー音)を確認してからダイヤルしてください。ダイヤルトーンを確認しないでダイヤルすると正しく接続されなかったり、間違った相手に接続されることがあります。



5 相手先のファクスまたは電話番号をダイヤルします。

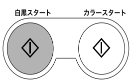
ダイヤル方法に関する詳細については、「ダイヤルするには」(→ P.4-7) を参照してください。

メモ
- 手動送信のときはグループダイヤルを利用できません。

6 相手が出たらお話しします。

手順 4 で [オンフック] を押したときは、相手の声が聞こえたらハンドセットを上げて話しをすることができます。
相手の声でなく「ピー」という音が聞こえるときは、手順８に進んでください。

7 相手にファクスを受信する操作をしてもらいます。



8 「ピー」という音が聞こえたら、[白黒スタート] を押し、ハンドセットを置きます。

メモ
- 手動送信を解除する場合は、[ストップ／リセット] を押します。送信中の場合、<ソウシンヲ　チュウシ　シマスカ？>とディスプレイに表示されたら、[◀ (-)] を押して<ハイ>を選択してください。[システムモニタ] キーからも解除することができます。(→「ユーザーズガイド」「第７章　システムモニタでジョブを確認する」)
  読み込み途中で原稿を排出したい場合は、[ストップ／リセット] を押します。[システムモニタ] を押しても排出できません。
- オフフックアラームが鳴るときは、ハンドセットがきちんと置かれているか確認してください。オフフックアラームを鳴らさないように設定することもできます。(→ P.8-3「メニューの設定内容」の< 4. オフフックアラーム>)

画質を調節する

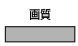
ファクスで送信する原稿の画質を向上させるための設定を説明します。

画質を変更する（ファクス解像度）

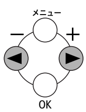
送信する原稿の画質（ファクス解像度）を変更することができます。ファクス解像度が高いほど相手が受け取る画像は高品質になりますが、通信時間も長くかかります。送信する原稿の内容に合わせて画質を変更してください。

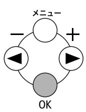
メモ
- 画質の解像度を高く設定するとメモリを多く消費します。そのため、メモリ送信する場合は、一度にセットできる原稿の枚数が少なくなります。また、送信にかかる情報量が多くなるため、通信時間も長くなります。

「送信方法」（→ P.4-1）の手順に従って送信してください。必要に応じて以下の手順で画質を変更してください。



1 ［画質］を押します。





2 ［◀（-）］または［▶（+）］を押して解像度を選択し、［OK］を押します。

【例】

```
ファクス カイソ゛ウト゛ セッテイ
  シャシン
```

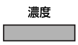
次の項目から選択できます。

- ＜ヒョウジュン＞文字原稿に適しています。（203 × 98 dpi）
- ＜ファイン＞鮮明な原稿に適しています。（203 × 196 dpi）
- ＜シャシン＞写真の入った原稿に適しています。（203 × 196 dpi）
- ＜スーパーファイン＞鮮明な原稿と写真の入った原稿に適しています。（＜ヒョウジュン＞の 4 倍の解像度）（203 × 391 dpi）
- ＜ウルトラファイン＞鮮明な原稿と写真の入った原稿に適しています。（＜ヒョウジュン＞の 8 倍の解像度）（406 × 391 dpi）

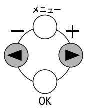
濃度（濃さ）を調節する

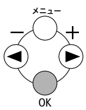
濃度とは、画像の明暗差のことです。<コク>に設定すると濃く、<ウスク>にすると薄くなります。

「送信方法」（→ P.4-1）の手順に従って送信してください。必要に応じて以下の手順で濃度を調節してください。



1 **［濃度］を押します。**





2 **［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押して濃度を選択し、［OK］を押します。**

【例】

ノウド ーウスク　◁□■□▶　コク＋	▶	2005 12/31 SAT 13:15 ルスTEL　ヒョウジュン

次の項目から選択できます。

・濃い原稿を薄くするには［ ◀ (-)］を押します。
・薄い原稿を濃くするには［ ▶ (+)］を押します。
・標準の原稿を送るときには中央位置に設定してください。

重要 ● ADF で原稿を読み取った場合、はっきりと読み取れないことがあります。より鮮明な画質をお求めの際は、原稿台ガラスに原稿を置いて読み取ってください。

ダイヤルするには

相手先のファクス／電話番号をダイヤルする方法には、以下の種類があります。

■ 相手先の番号を本製品に登録していない場合

- テンキーでダイヤルする（→ P.4-7）
- リダイヤル（→ P.4-11）

■ 相手先の番号を本製品に登録した場合

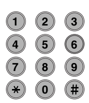
- ワンタッチダイヤルでダイヤルする（→ P.4-8）
- 短縮ダイヤルでダイヤルする（→ P.4-8）
- グループダイヤルでダイヤルする（→ P.4-8）
- 電話帳でダイヤルする（→ P.4-9）

メモ

- 登録したファクス／電話番号があやふやな場合、宛先ラベルを確認するか、ダイヤルリストをプリントして番号を確認してください。(→P.3-10「ダイヤルリストをプリントする」)
- 宛先登録の方法については、「第 3 章　宛先登録機能」（→ P.3-1）を参照してください。
- 相手先にダイヤルするときは、本製品をファクスモードに設定してから原稿を原稿台ガラスまたは ADF にセットしてください。

テンキーでダイヤルする

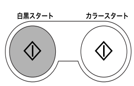
電話機でダイヤルするのと同様に、操作パネルのテンキーで相手先のファクス／電話番号をダイヤルします。



1 原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットし、テンキーを使って、ファクス／電話番号をダイヤルします。

メモ

- 番号を押し間違えたら、［◀ (-)］か［クリア］を押して番号を削除してください。
［クリア］を長押しすると入力した番号を一度に削除できます。

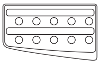


2 ［白黒スタート］を押します。

メモ

- ＜４. ダイヤルタイムアウト＞の設定が＜スル＞になっていて、原稿が ADF にセットされているときは、ファクス／電話番号を入力して、[OK] を押すと、一定時間経過後に自動的にファクス送信が始まります。(→ P.8-4「メニューの設定内容」の＜４. ダイヤルタイムアウト＞)

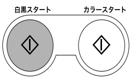
ワンタッチダイヤルでダイヤルする



1 **原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットし、ワンタッチダイヤル（０１から１９）を押します。**

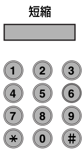
ワンタッチダイヤルに登録された番号が表示されます。
選択したワンタッチダイヤルキーに番号が登録されていないときは＜ミトウロクデス＞と表示されます。

メモ
- 番号を押し間違えたら、［ストップ／リセット］を押してください。



2 **［白黒スタート］を押します。**

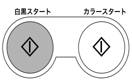
短縮ダイヤルでダイヤルする



1 **原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットし、[短縮] を押し、テンキーで２桁の短縮番号（００〜９９）を入力します。**

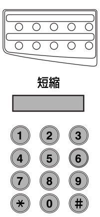
短縮ダイヤルに登録された番号が表示されます。
選択した短縮ダイヤルに番号が登録されていないときは＜ミトウロクデス＞と表示されます。

メモ
- 番号を押し間違えたら、［ストップ／リセット］を押してください。



2 **［白黒スタート］を押します。**

グループダイヤルでダイヤルする

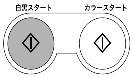


1 **原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットし、グループダイヤルが登録されているワンタッチダイヤル（０１から１９）を押すか、または［短縮］とテンキーで２桁の短縮番号（００〜９９）を押します。**

グループダイヤルに登録されたグループ名が表示されます。

選択した短縮ダイヤルに番号が登録されていないときは＜ミトウロクデス＞と表示されます。

メモ
- 番号を押し間違えたら、［ストップ／リセット］を押してください。
- 電話帳に登録されていないファクス／電話番号を入力することはできません。

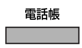


2 ［白黒スタート］を押します。

電話帳でダイヤルする

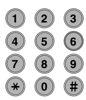
電話帳を利用すると、ワンタッチダイヤルキーや短縮ダイヤルに登録した相手先の名前からダイヤルする番号を検索できます。相手先の名前が分かっていても、ワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤル番号、グループダイヤルのグループのどこに番号を登録したか思い出せないときに便利です。

メモ
- ［電話帳］キーを押した後、［ ▶(+) ］で検索した場合、名称未登録→記号→数字→アルファベット→アイウエオの順に検索します。同一名称の場合は、先に登録された番号から検索されます。



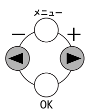
1 原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットし、［電話帳］を押します。

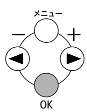
番号が登録されていない場合はディスプレイに＜ミトウロクデス＞と表示され、番号入力モードに戻ります。



2 探している相手先の名前の最初の文字をテンキーで入力します。

【例】
カ行の名前を検索するには、テンキーの［2］(ｶ ABC）を押すと、カ行の名前が表示されます。カ行の名前が登録されていない場合は何も表示されません。

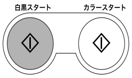




3 ［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押して他の名前を表示させます。

［▶(+)］を押すと、次の文字で始まる名前が表示されます。カナモードで検索したときは、アイウエオ→名称未登録→記号→数字→アルファベットの順で表示されます。
［◀ (-)］を押すと、逆順に表示されます。
登録されている最後の名前まで検索されると最初の名前に戻り、検索されます。
相手先の名前またはグループ名が表示されます。名前が登録されていないときはファクス／電話番号が表示されます。

4 相手の名前を確認して［OK］を押します。



5 ［白黒スタート］を押します。

＜4. ソウシン　キノウ　セッテイ＞で、＜4. ダイヤルタイムアウト＞が＜スル＞に設定されているときは、［白黒スタート］を押さなくても、5から10秒後に読み込みが開始されます。原稿台ガラスに原稿をセットしたときはP.4-3手順4の画面が表示されます。[OK]を押すと送信が開始されます。

ADFに原稿をセットしたときはそのまま送信されます。

自動読み込みをさせたくないときは＜4. ダイヤルタイムアウト＞を＜シナイ＞に設定してください。（→P.8-4「メニューの設定内容」の＜4. ダイヤルタイムアウト＞）

リダイヤル

リダイヤルには次の 2 種類があります。

- 手動リダイヤル
- 自動リダイヤル（メモリ送信の場合のみ）

手動リダイヤル

[リダイヤル／ポーズ]を押すと、テンキーで最後にかけた番号にもう一度ダイヤルできます。

メモ
- 手動リダイヤルを中止するには、[ストップ／リセット] を押します。
- 電源コードを抜き差しした場合、それ以前にテンキーで入力した番号は消去されます。

自動リダイヤル

メモリ送信では、送信先のファクスが通話中の場合に、一定時間後に自動的にダイヤルし直すように本製品を設定できます。

また、自動リダイヤルの設定を変えることもできます。（→ P.4-11「自動リダイヤルを設定する」）

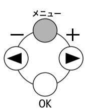
メモ
- 自動リダイヤルを中止するには、リダイヤルが開始されるまで待ち、[ストップ／リセット] を押してディスプレイの指示に従います。
- システムモニタから自動リダイヤルを中止することもできます。（→「ユーザーズガイド」「第 7 章　システムモニタでジョブを確認する」）

自動リダイヤルを設定する

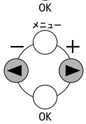
自動リダイヤルでは、次の設定が可能です。

- 自動リダイヤルする／しない
- リダイヤルの回数
- リダイヤルの間隔

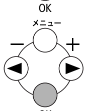
次の手順に従って、自動リダイヤルを設定します。

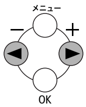


1 **[メニュー] を押します。**

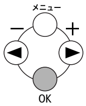


2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して< 4. ファクス　シヨウ　セッテイ> を選択し、[OK] を押します。**





3 ［◀（-）］または［▶（+）］を押して＜4．ソウシン　キノウ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。



4 ［◀（-）］または［▶（+）］を押して＜3．ジドウ　リダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［◀（-）］または［▶（+）］を押して、自動リダイヤルを有効にする場合は＜スル＞、無効にする場合は＜シナイ＞を選択します。

● **＜シナイ＞を選択した場合**

▼ ［OK］を押します。

● **＜スル＞を選択した場合**

▼ ［OK］を押します。

▼ ［◀（-）］または［▶（+）］を押して＜1．リダイヤル　カイスウ＞を選択し、［OK］を押します。

▼ ［◀（-）］または［▶（+）］を押すか、あるいはテンキーでリダイヤル回数を入力し、［OK］を押します。

リダイヤル回数は 1 ～ 10 回の間で設定できます。

【例】

リタ゛イヤル　カイスウ 2カイ	▶	シ゛ト゛ウ　リタ゛イヤル 2．リタ゛イヤル　カンカク

▼ ［◀（-）］または［▶（+）］を押して＜2．リダイヤル　カンカク＞を選択し、［OK］を押します。

▼ ［◀（-）］または［▶（+）］を押すか、あるいはテンキーでリダイヤル間隔を分単位で入力し、［OK］を押します。

リダイヤル間隔は 2 ～ 99 分の間で設定できます。

【例】

リタ゛イヤル　カンカク 4フン	▶	ソウシン　キノウ　セッテイ 4．タ゛イヤルタイムアウト



6 ［ストップ／リセット］を押して、待受画面に戻ります。

同報送信

1 回の操作で、あらかじめ登録しておいたワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルなどを組み合わせて最大 120 件の相手に同じ原稿を送信できます。120 件の内訳はワンタッチダイヤル 19 件、短縮ダイヤル 100 件、リダイヤルまたはテンキー入力 1 件です。この機能を同報送信と呼びます。

メモ
- 同じ複数の相手先に頻繁にファクスを送信する場合、「グループダイヤル」を利用すると便利です。(→ P.3-7「グループダイヤルを登録する」) グループダイヤルでは、1 〜数個のキーを押すだけで複数の相手先に原稿を送信できます。

次の手順に従って、複数の相手先にファクスを送信します。

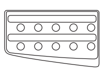


1 原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットし、[ファクス] を押します。

セット方法についての詳細は、「ユーザーズガイド」の「第 3 章　原稿の取り扱い」を参照してください。

2 必要に応じて、原稿に合わせて設定を変更します。

・ファクスの解像度を選択する場合は、[画質] を押します。(→ P.4-5「画質を変更する (ファクス解像度)」)
・読み取り濃度を選択する場合は、[濃度] を押します。(→ P.4-6「濃度 (濃さ) を調節する」)



3 相手先のファクス／電話番号を入力します。

●ワンタッチダイヤルを使う場合

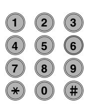
ワンタッチダイヤルキーを押します。19 箇所まで入力できます。



●短縮ダイヤルを使う場合

[短縮] を押し、テンキーで 2 桁の短縮ダイヤル番号を入力します。100 箇所まで入力できます。

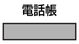
メモ
- 必要に応じて上記の手順を繰り返し、他の短縮ダイヤル番号を入力してください。



●テンキーでダイヤルする場合

テンキーでファクス／電話番号を入力し、[OK] を押します。1 箇所のみ入力できます。

入力した番号を確認するには、[◀ (-)] または [▶ (+)] を押します。



●電話帳を使う場合

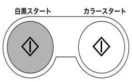
[電話帳] を押します。

テンキーで相手の名前の最初の文字を入力します。

[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して相手の名前を表示させ、[OK] を押します。

メモ

- 1 つ目のワンタッチダイヤルキーまたは短縮ダイヤル番号を入力してから次の番号を入力するまでに 5 秒以上間隔を置くと、本製品は自動的にファクス送信を開始してしまいますが、複数の番号を入力すると送信開始までの時間は 1 0 秒になります。自動的に送信したくないときは< 4. ソウシン　キノウ　セッテイ>の< 4. ダイヤルタイムアウト>)を<シナイ>に設定してください。(→ P.8-4「メニューの設定内容」の< 4. ダイヤルタイムアウト>)
- 入力した番号を確認するには、[◀ (-)] または [▶ (+)] を押してください。



4 すべての番号を入力したら、[白黒スタート] を押します。

原稿台ガラスを使用している場合、読み取りが終了すると、原稿を取り替えるよう指示があります。次のページをセットし（複数ページの原稿の場合）、[白黒スタート] を押します。送信を開始するには、[OK] を押します。

メモ

- どのような順番で入力しても、テンキーから入力した番号、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの順でダイヤルされます。
- 一度に 1 回の同報送信しか行うことはできません。
- 送信を中止する場合は、[ストップ／リセット] を押し、ディスプレイの指示に従ってください。[ストップ／リセット] を押すと、すべての送信先への送信が中止されます。1 箇所だけの送信を中止することはできません。(→「ユーザーズガイド」「第 7 章　システムモニタでジョブを確認する」)

特殊なダイヤル

海外にダイヤルするときや、一時的に PB 信号送出に切り替えたりする方法について説明します。

海外にファクスを送る（ポーズの挿入）

相手先が海外の場合、ファクス／電話番号にポーズを入れて発信する場合があります。

メモ
- 手動送信の場合、番号の末尾にポーズを入れてもポーズ動作（10 秒間の発呼中断）は行われず、リダイヤル番号（前回押した番号）が呼び出されます。

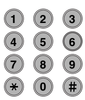


1 原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットし、［ファクス］を押します。

ファクス送信できる原稿の種類、要件、セット方法に関する詳細については、「ユーザーズガイド」の「第 3 章　原稿の取り扱い」を参照してください。

2 必要に応じて、原稿に合わせて設定を変更します。

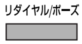
・ファクスの解像度を選択する場合は、[画質] を押します。(→ P.4-5「画質を変更する (ファクス解像度)」)
・読み取り濃度を選択する場合は、[濃度] を押します。(→ P.4-6「濃度 (濃さ) を調節する」)



3 テンキーで国際アクセス番号を入力します。

国際アクセス番号に関する詳細については、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

メモ
- 番号を押し間違えたら、［◀ (-)］か［クリア］を押して数字を削除してください。
  ［クリア］を長く押すとすべての数字を削除できます。

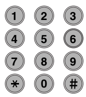


4 必要に応じて［リダイヤル／ポーズ］を押し、2 秒間のポーズ（P）を挿入します。

【例】

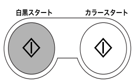
```
TEL=0P
```

- ポーズを長くしたいときは、もう一度［リダイヤル／ポーズ］を押すと、2 秒間のポーズが追加されます。また、メニューの設定でポーズの長さを変更することもできます。（→ P.8-4「メニューの設定内容」の＜ 2. ポーズ　ジカン　セット＞）
- 番号と番号の間に入れたポーズは p(小文字) で表示され、番号の最後に入れたポーズは P（大文字）で表示されます。



5 テンキーで相手先の国番号、地域番号、ファクス／電話番号を入力します。

メモ
- 操作を間違えたら、［ストップ／リセット］を押して手順 3 からやり直してください。
- 番号を押し間違えたら、［◀ (-)］か［クリア］を押して数字を削除してください。
［クリア］を長く押して入力したすべての数字を削除することもできます。



6 [白黒スタート] を押します。

メモ
- 送信を中止する場合は、［ストップ／リセット］を押し、ディスプレイの表示に従ってください。
- たびたび送信する海外の相手先を、本製品のワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなどに登録して利用することもできます。（→ P.3-2「ワンタッチダイヤルを登録する」、→ P.3-5「短縮ダイヤルを登録する」）

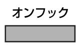
一時的に PB 発信に切り替える

銀行や航空会社、ホテルなどが提供するプッシュホンサービスの中には、プッシュ回線（PB回線）での利用を前提とするものがあります。以下の手順で、一時的に PB 信号を送出することができるようになります。ダイヤル回線でご使用の場合でも、プッシュホンサービス（銀行 ANSER、クレジット通話サービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御など）を利用することができます。

メモ
- 手動でダイヤルするときは、かならずダイヤルトーン(ツー音)を確認してからダイヤルしてください。ダイヤルトーンを確認しないでダイヤルすると正しく接続されなかったり、間違った相手に接続されることがあります。



1 **[ファクス］を押します。**



2 **[オンフック］を押します。**

メモ
- 電話機を利用するには、本製品に接続する必要があります（→「スタートアップガイド」の「電話線を接続する」）

3 **電話機のテンキー、または本製品のワンタッチダイヤル／短縮ダイヤル／［リダイヤル／ポーズ］／テンキーで、相手先のファクス／電話番号を入力します。**

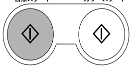
4 **情報サービスの応答メッセージが流れたら、本製品の［⁎］を押して PB 発信に切り替えます。**

［⁎］を押すと、＜ T ＞という文字がディスプレイに表示されます。

本製品がプッシュ回線（PB 回線）に接続されている場合は、次の手順に進みます。

5 **プッシュホンサービスの案内に従って、本製品のテンキーで番号を入力します。**

［⁎］のあとに入力する番号は PB 信号で送出されます。



6 **ファクスを受信状態にする場合は、［白黒スタート］を押します。**

オンフック

7 サービスの利用を終了するときは、［オンフック］を押します。

回線を切ると、PB 発信機能は解除されます。

メモ

- オフフックアラームが鳴るときは、ハンドセットがきちんと置かれているか確認してください。オフフックアラームを鳴らさないように設定することもできます。（→ P.8-3「メニューの設定内容」の< 4. オフフックアラーム >）

5
CHAPTER

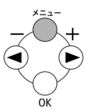
受信するには

ファクス受信方法について説明します。受信モードの設定と、受信中のファクスを中止する方法についても説明します。

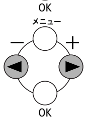
受信モードを設定する

メモ ● 受信可能な範囲からはみ出した文字や画像はファクスで受信されません。ただし、受信時に＜６．ガゾウ　シュクショウ＞を＜スル＞に設定すると、画像全体を縮小して受信できます。）

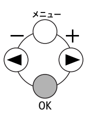
以下の手順に従って、受信モードを設定します。



1 **[メニュー] を押します。**



2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して＜ 4．ファクス　シヨウ　セッテイ＞を選択して［OK］を押します。**



3 **[◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押して＜ 1．ジュシンモード＞を選択して［OK］を押します。**

4 設定したいジュシンモードが表示されるまで［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押し、［OK］を押します。

次の項目から選択できます。

・＜ジドウ＞ファクスを自動的に受信します。送信側には「ピー」という音が鳴り、その間に相手がファクスの送信操作をしないと回線が切断されます。電話に応答することはできません。（→ P.5-2「自動で受信する：ジドウ」）
・＜ FAX/TEL ＞ファクスと電話を自動的に切り替えます。ファクスは自動的に受信し、電話のときは呼出音を鳴らします。（→ P.5-3「ファクスと電話を自動で切り替える：FAX/TEL」）
・＜ルス TEL ＞ファクスの場合は自動的に受信し、電話の場合は本製品に接続した留守番電話に転送します。（→ P.5-5「留守番電話機を接続して受信する：ルス TEL」）
・＜シュドウ＞ファクス、電話いずれの場合も、本製品に接続した電話機の着信音が鳴ります。ファクスの場合は、手動でファクス受信を開始する必要があります。（→ P.5-6「手動で受信する：シュドウ」）

メモ
- メニューの＜ 4. ファクス　シヨウ　セッテイ＞の＜ 5. ジュシン　キノウ　セッテイ＞で＜ 4. ジドウ　ジュシン　キリカエ＞が＜スル＞に設定されている場合は、受信モードを＜シュドウ＞に設定しても、ファクスは自動的に受信されます。（→ P.8-5「メニューの設定内容」の＜ 4. ジドウ　ジュシン　キリカエ＞）

ストップ/リセット



5 ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

メモ
- ＜ 2. キョウツウ　キノウ　セッテイ＞の＜ 3. シロクロプリント　トナーセーブ＞を選択すると、受信したファクスをトナーセーブモードでプリントします。ファクス受信出力の際にトナーを節約することができます。（→「ユーザーズガイド」「第 10 章　各種機能を登録する／設定する」）
- シロクロプリントトナーセーブモードを使うと、印刷の濃度が薄れ、印刷された文字がかすれる場合があります。この機能は、画像（写真）などの印刷範囲の広いものを大量に印刷するときにお使いください。印刷範囲の狭い印刷データではあまり効果が得られません。

自動で受信する：ジドウ

＜ジドウ＞を選択するときは、以下を確認してください。

■ こんなときにこのモードを選択してください。

- ファクス専用の電話回線がある。
- ファクスだけを自動受信したい。

■ 必要な作業

- ＜ジドウ＞に設定する。（→ P.5-1「受信モードを設定する」）

■ ファクスが着信すると

自動的にファクスを受信します。

■ **電話が着信すると**

<ジドウ>では、電話に応答することができません。

メモ
- 本製品に電話機を接続し、< 3. チャクシン　ヨビダシ>を<スル>に設定すると、電話が着信したときに着信音が鳴り、電話に出ることができます。(→ P.8-5「メニューの設定内容」の< 3. チャクシン　ヨビダシ>)
- 自動受信モードに設定されている場合、音声電話着信時に呼出音を鳴らすかどうかを設定します。
- 自動で受信する(<ジドウ>)に設定されていると、送信側には「ピー」という音が返ります。

ファクスと電話を自動で切り替える：FAX/TEL

■ **こんなときにこのモードを選択してください。**

- ファクスと電話を 1 本の回線で共用している。
- 電話だけでなく、ファクスも自動で受信したい。

■ **必要な作業**

- < FAX/TEL >を選択する。(→ P.5-1「受信モードを設定する」)

■ **ファクスが着信すると**

自動的にファクスを受信します。

■ **電話が着信すると**

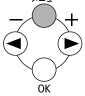
着信音を鳴らしてお知らせします。外付け電話のハンドセットを取り上げてお話しください。

詳細設定をする

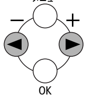
ファクスや電話が着信したときの動作を細かく設定することができます。電話を受けてから着信音を鳴らすまでの時間や呼出音を鳴らし続ける時間、応答がないときの動作などを設定できます。

次の手順に従って< FAX/TEL >受信モードの詳細設定をしてください。

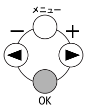
メモ
- < FAX/TEL >の詳細設定は、お買い求めのときの設定でお使いになることをお勧めします。変更すると、ファクスを受信する際に影響が出る場合があります。



1 **[メニュー] を押します。**



2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して< 4. ファクス　シヨウ　セッテイ>を選択し、[OK] を押します。**



3 **［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押して< 5. ジュシン　キノウ　セッテイ>を選択し、［OK］を押します。**

4 **［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押して< 2. F/T ショウサイ　セッテイ>を選択し、［OK］を押します。**

5 **［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押して< 1. ヨビダシ　カイシ　ジカン>を選択し、［OK］を押します。**

6 **［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押して呼び出しを開始するまでの時間を選択し、[OK] を押します。**

・選択可能な時間は 0 〜 30 秒です。
・テンキーを直接押して選択することもできます。

7 **［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押して< 2. ヨビダシ　ジカン>を選択し、［OK］を押します。**

8 **［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押して呼び出し音を鳴らす時間を選択し、［OK］を押します。**

選択可能な時間は 15 〜 300 秒です。

9 **［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押して< 3. ヨビダシゴノ　ドウサ>を選択し、手順 7 で設定した時間内に応答がないときの動作を選択して［OK］を押します。**

次の動作から選択できます。

・<ジュシン>ファクス受信モードに切り替えます。
・<シュウリョウ>通話を切ります。



10 **［ストップ／リセット］を押して、待ち受け画面に戻ります。**

留守番電話機を接続して受信する：ルス TEL

＜ルス TEL ＞を選択するときは、以下を確認してください。

■ こんなときにこのモードを選択してください。

- 1 つの電話回線をファクスと電話で共用する必要がある。
- ファクスは自動的に受信し、電話は本製品に接続した留守番電話機で受けたい。

■ 必要な作業

- ＜ルス TEL ＞に設定する。（→ P.5-1「受信モードを設定する」）

メモ
- 留守番電話機を以下のように設定してください。
  - ・1 回目か 2 回目の呼出音で応答メッセージが流れるようにしてください。
  - ・応答メッセージの長さは 15 秒以内とします。
  - ・応答メッセージの中で、相手にファクスの送信方法を伝えるようにしてください。

■ ファクスが着信すると

本製品が自動的にファクスを受信します。

■ 電話が着信すると

留守番電話機が用件を録音します。

手動で受信する：シュドウ

＜シュドウ＞を選択するときは、以下を確認してください。

メモ
- この機能は、外付け電話機の種類や回線の状態などにより使用できない場合があります。

■ こんなときにこのモードを選択してください。

- 1 つの電話回線をファクスと電話で共用している。
- 主な用途は電話で、時々ファクスを受信する。

■ 必要な作業

- ＜シュドウ＞に設定します。（→ P.5-1「受信モードを設定する」）
- 電話機から受信操作（リモート受信）をしたいときは、＜ 4. ファクス　シヨウ　セッテイ＞の＜ 5. ジュシン　キノウ　セッテイ＞から＜ 5. リモート　ジュシン＞を＜スル＞に設定して下さい。（→ P.8-6「メニューの設定内容」の＜ 5. リモート　ジュシン＞）

■ ファクスが着信すると

電話機の着信音が鳴ります。電話機のハンドセットを取り、［ファクス］を押してファクスモードにしてから［白黒スタート］を押すか、電話機から 2 桁の ID コードを入力して（→ P.8-2「メニューの設定内容」）ファクスの受信を開始し、ハンドセットを置きます。

メモ
- オフフックアラームが鳴るときは、ハンドセットがきちんと置かれているか確認してください。オフフックアラームを鳴らさないように設定することもできます。（→ P.8-3「メニューの設定内容」の＜ 4. オフフックアラーム＞）
- 相手の方が手動送信でファクスを送られてきた場合、外付け電話機を取り上げても無音となることがあります。

■ 電話が着信すると

電話機の着信音が鳴ります。外付け電話機のハンドセットを取って、相手と通話します。相手が電話の後でファクスを送るときは、相手にスタートキーを押してもらい、「ピー」という音が聞こえたら［ファクス］を押してファクスモードにしてから［白黒スタート］を押して、ファクスの受信を開始し、ハンドセットを置きます。

メモ
- 着信がファクス、電話いずれの場合も、常に電話機の着信音が鳴ります。着信音が設定回数鳴った後にファクスを自動的に受信したい場合は、＜ 4. ジドウ　ジュシン　キリカエ＞を＜スル＞に設定してください。着信音の回数も設定できます。（→ P.8-5「メニューの設定内容」の＜ 4. ジドウ　ジュシン　キリカエ＞）

他の作業中に受信する

本製品は複数の処理を同時に行えるので、他の作業をしている間でも、ファクスを受信したり電話を受けたりすることができます（複合動作）。

- 特定の作業中にファクスを受信した場合は、ファクスはメモリに保存されます。作業終了後、すぐにファクスが自動的にプリントされます。ファクスを受信できるのは次の作業中です。
  - ・プリント
  - ・スキャン（スキャンモード）*
  - ・ファクス原稿の読み取り*
  - ・レポートやリストの印刷
  - ・コピー

  ＊作業中でも、受信したファクスのプリントがすぐに開始されます。
- 回線使用中に他のファクスを受信することはできません。

問題が発生した場合にファクスをメモリで受信する（代行受信）

ファクス受信中に問題が発生した場合、本製品はプリントされていないページを自動的にメモリで受信します。ディスプレイには、＜ダイコウ　ジュシン　シマシタ＞と、代行受信を知らせるメッセージが表示されます。問題を解決すると、メモリに蓄積されたファクスが自動的にプリントされます。エラーメッセージと問題の解決方法の詳細については、「ディスプレイの表示」（→ P.7-1）を参照してください。

メモ

- 本体のメモリは､最大 20 件のファクス受信または約 256 ページ分 * のデータを蓄積できます。

  * Satera MF8180 でのキヤノン FAX 標準チャート No.1 を標準画質（8 × 3.85 本／ mm）にて MH 符号化方式により蓄積した場合の枚数です。メモリに蓄積できる最大のページ数は、送信側のファクスの種類や原稿によって異なります。（キヤノン FAX 標準チャート：電気通信に関する国際的な標準化を目的に作成された原稿）

- 蓄積されたページは印刷されるとメモリから削除されます。
- メモリがいっぱいになると、残りのページは受信できません。相手に残りのページを再送信してくれるよう連絡してください。

受信を中止する

受信中のファクスを中止する場合は、次の手順を実行します。



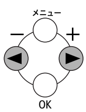
1 ［ストップ／リセット］を押します。

確認メッセージが表示されます。

【例】

```
ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ?
　〈　ハイ　　　　　　　　イイエ　〉
```

メモ
- [システムモニタ] を押しても中止できます。



2 受信を中止する場合は、［◀ (-)］を押します。

受信し続ける場合は、［▶(+)］を押して<イイエ>を選択します。

各種レポート／リストをプリントする

6
CHAPTER

通信結果のレポートや、本製品に登録した設定や相手先の一覧をプリントする方法を説明します。

本製品でプリントできるレポート／リスト

本製品でプリントできるレポート／リストの一覧です。詳細については、各ページを参照してください。

レポート／リスト	内容	参照ページ
ワンタッチダイヤルリスト	ワンタッチダイヤルに登録されたファクス／電話番号と相手先の一覧です。	→ P.3-10
短縮ダイヤルリスト	短縮ダイヤルに登録されたファクス／電話番号と相手先の一覧です。	→ P.3-11
グループダイヤルリスト	グループダイヤルに登録されたグループの一覧です。	→ P.3-11
通信管理レポート	本製品が最近送信または受信したファクスです。 20 回通信（送受信）するごとに自動的にプリントするかどうかを設定できます。手動でプリントすることもできます。	→ P.6-3
送信結果レポート	原稿を送信するたびにプリントされます。 この機能はオン／オフが可能です。また、送信中にエラーが発生した場合のみ、レポートがプリントされるよう設定することもできます。	→ P.6-5
受信結果レポート	原稿を受信するたびにプリントされます。 この機能はオン／オフが可能です。また、受信中にエラーが発生した場合のみ、レポートがプリントされるよう設定することもできます。	→ P.6-7
ユーザデータリスト	本製品の現在の設定内容の一覧と、登録された発信元情報です。	→ P.6-9

メモ

- レポート印刷に使用できる用紙のサイズは A4、レターおよびリーガルです。
- カセットに用紙がセットされていないと、レポート／リストは印刷されません。
- レポート印刷を中止するときは［システムモニタ］を押してください。（→「ユーザーズガイド」「第 7 章　システムモニタでジョブを確認する」）

通信管理レポート

通信管理レポートをプリントする

お買い求めのときは、20 回通信するごとに通信管理レポートをプリントするように設定されています。

通信管理レポートには、送信と受信とが古い順に並んでいます。

2005 12/31 15:16 FAX 03333XXXXXXX キヤノン 001

****
*** 通信管理ﾚﾎﾟｰﾄ ***
****

開始時刻	相手先	番号	通信モード		枚数	通信結果
*12/31 12:49	33231	5007	自動受信	ECM	1	OK 00'17
*12/31 12:55	33231	0007	自動受信	ECM	5	OK 01'25
12/31 13:35	33231	0008	送信	ECM	3	OK 00'51
12/31 13:36	33231	0009	送信	ECM	2	OK 00'34
12/31 13:37	33231	0010	送信	ECM	0	NG 00'00 0 STOP
12/31 12:49	33231	0012	送信		0	NG 00'00 0 #0018

すでに通信管理レポートをプリントしたことがある通信を示します。

通信モード

ECMモードによる通信

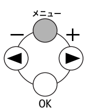
エラーコード

通信中に[ストップ/リセット]が押されたことを示します。

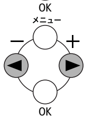
通信時間

メモ ● 手動で送信したファクスの場合、相手先のファクス／電話番号は記載されません。

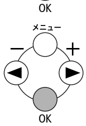
手動で通信管理レポートをプリントするには、次の手順に従います。



1 **[メニュー] を押します。**



2 **[◀ (-)] または [▶ (+)] を押して< 9. レポート／リスト>を選択し、[OK] を押します。**




```
レポート／リスト
 1. ツウシンカンリ レポート
```

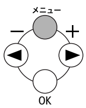
6 各種レポート／リストをプリントする

3 ［◀ (-)］または［▶ (+)］を押して＜ 1．ツウシンカンリ　レポート＞を選択し、［OK］を押します。

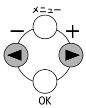
通信管理レポートの設定を変更する

通信管理レポートを自動的にプリントしないように設定できます。

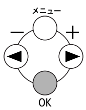
設定の変更は、以下の手順に従ってください。



1 [メニュー] を押します。



2 ［◀ (-)］または［▶ (+)］を押して＜ 4．ファクス　シヨウ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。



3 ［◀ (-)］または［▶ (+)］を押して＜ 3．レポート　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◀ (-)］または［▶ (+)］を押して＜ 3．ツウシンカンリ　レポート＞を選択し、［OK］を押します。

5 ［◀ (-)］または［▶ (+)］を押して希望の設定を選択し、［OK］を押します。

次の項目から選択できます。

・＜プリント　スル＞通信管理レポートを 20 回通信するごとに自動的にプリントします。
・＜プリント　シナイ＞通信管理レポートをプリントしません。

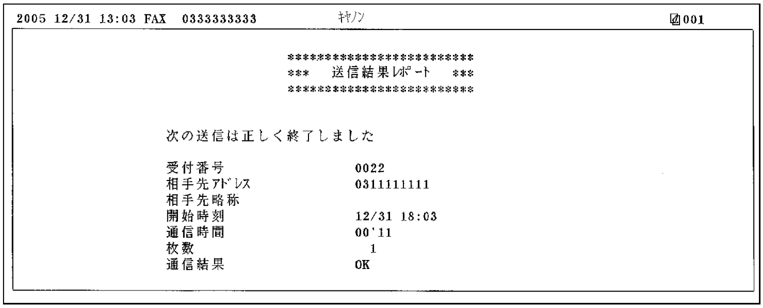


6 ［ストップ／リセット］を押して、待受画面に戻ります。

送信結果レポートの設定を変更する

原稿を送信したあとに、送信結果レポート（送信レポートまたはエラー送信レポート）をプリントすることができます。原稿を送信するたびにプリント、またはエラーが発生した場合のみプリントのいずれかに設定可能です。さらに、レポートをプリントしないように設定することもできます。お買い求めのときは、エラーが発生した場合のみレポートがプリントされるよう設定されています。

送信結果レポート


2005 12/31 13:03 FAX 0333333333 ｷﾔﾉﾝ ⎙001

****

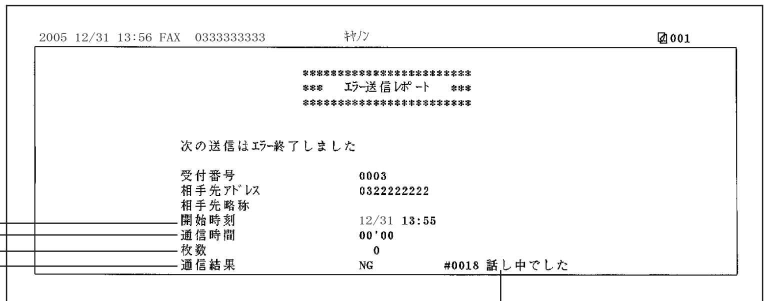
*** 送信結果ﾚﾎﾟｰﾄ ***

****

次の送信は正しく終了しました

受付番号	0022
相手先ｱﾄﾞﾚｽ	0311111111
相手先略称	
開始時刻	12/31 13:03
通信時間	00'11
枚数	1
通信結果	OK

エラー送信
レポート


2005 12/31 13:56 FAX 0333333333 ｷﾔﾉﾝ ⎙001

****

*** ｴﾗｰ送信ﾚﾎﾟｰﾄ ***

****

次の送信はｴﾗｰ終了しました

受付番号	0003
相手先ｱﾄﾞﾚｽ	0322222222
相手先略称	
開始時刻	12/31 13:55
通信時間	00'00
枚数	0
通信結果	NG #0018 話し中でした

開始時刻が表示されます。

通信時間が表示されます。

送信したページ数が表示されます。

エラーコード

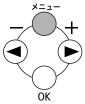
OK： 正常に送信された場合に表示されます。
NG： 一部または全ページ送信できなかった場合に表示されます。

メモ

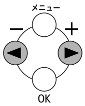
- 手動で送信したファクスの場合、相手先のファクス／電話番号は記載されません。
- 送信結果レポートをプリントする際、本機にて送信画像を<ツケル>と設定してあっても、PCFAX ドライバからの送信では、送信画像を付けてプリントすることはできません。
- コンピュータからファクス送信した場合、送信結果レポートはプリントされません。

設定の変更は、以下の手順に従ってください。

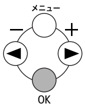
6 各種レポート／リストをプリントする



1 ［メニュー］を押します。



2 ［◀ (-)］または［▶ (+)］を押して＜4. ファクス　シヨウ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。



3 ［◀ (-)］または［▶ (+)］を押して＜3. レポート　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

4 ［◀ (-)］または［▶ (+)］を押して＜1. ソウシンケッカ　レポート＞を選択し［OK］を押します。

5 ［◀ (-)］または［▶ (+)］を押して希望の設定を選択し、［OK］を押します。

次の項目から選択できます。

・＜エラージ　ノミ　プリント＞エラー発生時のみプリントします。
・＜プリント　スル＞送信するたびにプリントします。
・＜プリント　シナイ＞送信レポートをプリントしません。

＜エラージ　ノミ　プリント＞または＜プリント　スル＞を設定したときはファクスの1ページ目をレポートの下部にプリントすることができます。＜ソウシンガゾウ＞で＜ツケル＞＜ツケナイ＞を選択して、［OK］を押します。

・＜ツケル＞1ページ目をプリントします。
・＜ツケナイ＞送信原稿をプリントしません。

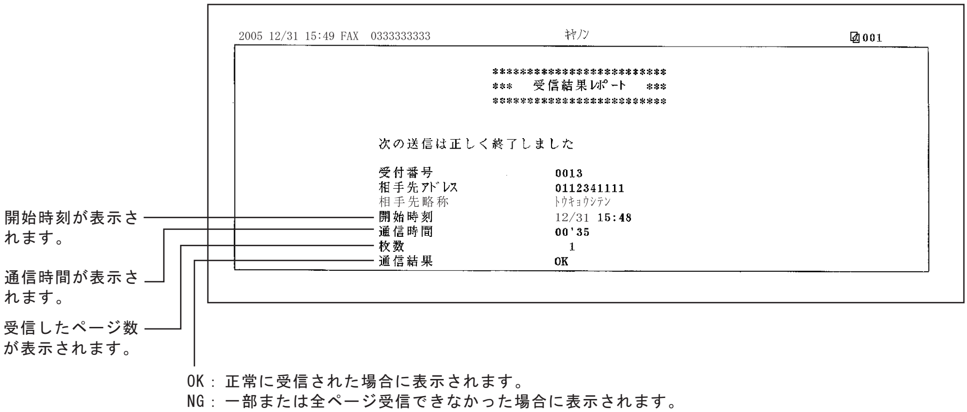


6 ［ストップ／リセット］を押して、待受画面に戻ります。

メモ
- 送信結果レポートの設定において、送信原稿を＜ツケル＞に設定した場合でも、コンピュータからファクス送信した場合は送信原稿を付けてプリントすることはできません。

受信結果レポートを設定する

原稿を受信したあとに、受信結果レポートをプリントすることができます。原稿を受信するたびにプリント、またはエラーが発生した場合のみプリントのいずれかに設定可能です。さらに、レポートをプリントしないように設定することもできます。お買い求めのときは、受信結果レポートをプリントしないように設定されています。



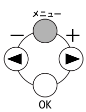
2005 12/31 15:49 FAX 0333333333 ｷﾔﾉﾝ 001

****
*** 受信結果ﾚﾎﾟｰﾄ ***
****

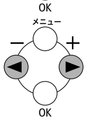
次の送信は正しく終了しました

受付番号	0013
相手先ｱﾄﾞﾚｽ	0112341111
相手先略称	ﾄｳｷｮｳｼﾃﾝ
開始時刻	12/31 15:48
通信時間	00'35
枚数	1
通信結果	OK

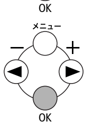
設定の変更は、以下の手順に従ってください。



1 **［メニュー］を押します。**



2 **［◀ (-)］または［▶ (+)］を押して< 4. ファクス　シヨウ　セッテイ>を選択し、［OK］を押します。**



3 **［◀ (-)］または［▶ (+)］を押して< 3. レポート　セッテイ>を選択し、［OK］を押します。**

4 **［◀ (-)］または［▶ (+)］を押して< 2. ジュシンケッカ　レポート >を選択し、［OK］を押します。**

5 **［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押して希望の設定を選択し、［OK］を押します。**

次の項目から選択できます。

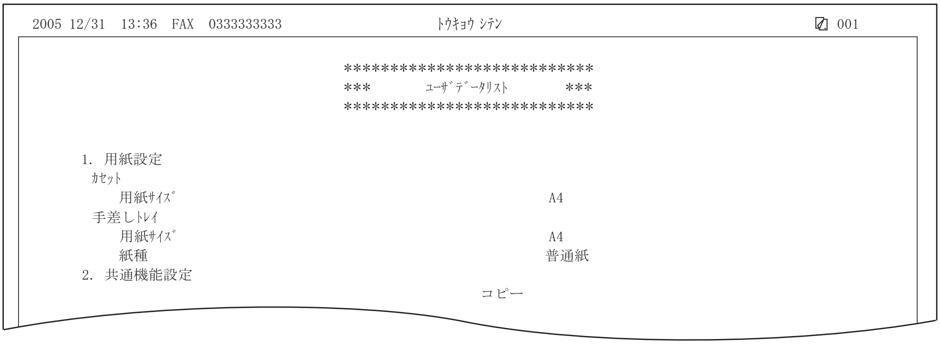
・＜プリント　シナイ＞受信レポートをプリントしません。
・＜エラージ　ノミ　プリント＞エラー発生時のみプリントします。
・＜プリント　スル＞受信するたびにプリントします。



6 **［ストップ／リセット］を押して、待受画面に戻ります。**

ユーザデータリストをプリントする

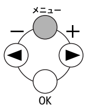
ユーザデータリストをプリントすると、本製品に登録された設定と発信元情報を確認できます。（→ P.2-6「発信元の情報を登録する」）


2005 12/31 13:36 FAX 0333333333 トウキョウ シテン 001

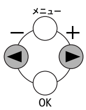
****
*** ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀﾘｽﾄ ***
****

1. 用紙設定
ｶｾｯﾄ
用紙ｻｲｽﾞ A4
手差しﾄﾚｲ
用紙ｻｲｽﾞ A4
紙種 普通紙
2. 共通機能設定
コピー

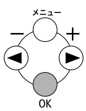
次の手順に従って、ユーザデータリストをプリントします。



1 [メニュー] を押します。



2 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して< 9. レポート／リスト>を選択し、[OK] を押します。



3 [◀ (-)] または [▶ (+)] を押して< 3. ユーザ　データリスト>を選択し、[OK] を押します。

【例】

```
レポ゜ート／リスト
 3. ユーザ゛デ゛ータリスト
```

困ったときには

7
CHAPTER

ファクスの操作中にトラブルが発生した場合の対処のしかたについて説明します。ご自分で解決できないときの対処法も記載されています。

ディスプレイの表示

機能が実行されたとき、または、エラーが発生すると、以下のメッセージがディスプレイに表示されます。

ここでは、ファクス機能に関するメッセージについて説明します。他のメッセージについては、「ユーザーズガイド」「第９章　困ったときには」を参照してください。

ゲンコウヲ　テンケン　シテクダサイ

原因１：ADF に紙がつまっている。

処　置：ADF を開けて原稿を取り除いてください。(→「ユーザーズガイド」「第９章　困ったときには」)
原稿が長すぎたり短すぎたりしないか確認します。(→「ユーザーズガイド」「第 3 章　原稿の取り扱い」)

原因２：ADF のローラが原稿を送らずに空転している。

処　置：ADF にセットする前に用紙の端をさばき、原稿の縁を平らな面でそろえてください。

ゲンコウガ　ナガスギマス

原　因：原稿が 1m より長い、または正しく給紙されていない。

処　置：原稿の長さを 1m 以下にして、もう一度セットしてください。

ダイコウ　ジュシン　シマシタ

原　因：用紙やトナーがなくなった、紙づまり、セットされた用紙サイズが正しくないことが原因で、ファクスをメモリ受信した。（→ P.5-8「問題が発生した場合にファクスをメモリで受信する（代行受信）」）

処　置：正しいサイズの用紙をカセットにセットする、カートリッジを交換する、紙づまりを直すかのいずれかを行います。詳細は以下を参照してください。

- 「ユーザーズガイド」「第２章　用紙の取り扱い」
- 「ユーザーズガイド」「第８章　日常のメンテナンス」
- 「ユーザーズガイド」「第９章　困ったときには」

ミトウロクデス

原　因：ワンタッチダイヤルキーまたは入力した短縮ダイヤルにファクス／電話番号が登録されていない。

処　置：ワンタッチダイヤルキーまたは短縮ダイヤルを登録してください。詳細は以下を参照してください。

- 「ワンタッチダイヤルを登録する」（→ P.3-2）
- 「短縮ダイヤルを登録する」（→ P.3-5）

メモリガ　イッパイデス

原因１：原稿の読み取り中やコピー中にメモリがいっぱいになった。

処　置：原稿を送信する場合は、いくつかに分けるか、解像度を下げてください。
それでもメモリが足りないときは、送信中のファクスが終わるまで待ってください。
ADF で原稿を読み取っているときに<メモリガ　イッパイデス>が表示されると、読み取り中の原稿が ADF で停止します。そのときは、「ユーザーズガイド」の「第９章　困ったときには」を参照して、つまった原稿を取り除いてください。

原因２：メモリに保存されたファクスジョブが最大保存量に達しています。

処　置：本製品は送信ジョブ、受信ジョブそれぞれ 20 件、または 25 件の送受信ジョブを保存できます。メモリ内のファクスが送信されるまで待ってください。または、メモリ内の原稿を印刷するか削除してください。

メモリ　シヨウ　リョウ

原　因：現在のメモリ使用量が表示されます。原稿を ADF にセットすると表示されます。

処　置：メモリが足りない場合は、メモリ内のファクスが送信されるまで待ってください。または、メモリに保存されている不要な原稿を印刷するか、削除してください。

ヨウシサイズ　ヘンコウ

原因１：ファクス受信中に用紙サイズが< EXEC >(エグゼクティブ) に設定されている。

処　置：用紙サイズをレター、リーガル、A４、A５のいずれかに設定し、そのサイズの用紙をセットしてください。

原因２：レポートを印刷中に、用紙サイズがレター、リーガル、A4 以外に設定されている。

処　置：用紙サイズを A4、レター、リーガルのいずれかに設定して、そのサイズの用紙をセットしてください。自動的にメモリに蓄積されたレポートが出力されます。

ヨウシノ　サイズヲ　チェック

原因１：ファクス受信中にカセットまたは手差しトレイの用紙のサイズが、メニューの< 1. ヨウシ　セッテイ>の< 1. ヨウシ　サイズ>設定で指定された用紙サイズと違う。

処　置：ファクスは受信され、セットされた用紙に出力されます。同時にメモリに保存されますので、正しいサイズの用紙をセットすると自動的に再出力されます。

原因２：レポートまたはリストを印刷中にカセットまたは手差しトレイの用紙サイズがメニューの< 1. ヨウシ　セッテイ>の< 1. ヨウシサイズ>設定で指定された用紙サイズと違う。または A４、レター、リーガル以外の用紙にセットされている。

処　置：正しいサイズの用紙をセットすると、メモリに蓄積されたレポートが自動的に出力されます。< 1. ヨウシ　セッテイ>の< 1. ヨウシサイズ>を変更したときは［システムモニタ］を押して、いったん該当ジョブを取り消してからやり直してください。
用紙サイズが A4、レター、リーガル以外に設定されているときはジョブが受け付けられません。A4、レター、リーガルのいずれかに設定してからレポートまたはリストの出力操作をやり直してください。

原因３：コピー中にカセットまたは手差しトレイの用紙サイズがメニューの< 1. ヨウシ　セッテイ>の< 1. ヨウシサイズ>設定で指定された用紙サイズと違う。

処　置：コピーは出力されますが、正しいサイズの用紙をセットするとメモリに保存された原稿が再出力されます。< 1. ヨウシ　セッテイ>の< 1. ヨウシサイズ>設定を変更したときは、［システムモニタ］を押して、いったん該当ジョブを取り消してからやり直してください。

エラーコード

レポートには、エラーについて詳細に説明するスペースがないため、エラーコード番号として記録されています。レポートにエラーが記録されたら、エラーコード番号を見て、下の表でエラーの原因と処置を確認してください。

#0001

原　因：原稿がつまっている可能性がある。

処　置：つまっている原稿を取り除いてください。

#0003

原因１：長さが 1m 以上の原稿を ADF から送ろうとした。

処　置：原稿台ガラスから数回に分けて送信しなおしてください。

原因２：データ量が大きすぎるため、1 枚の原稿を送信するのに時間がかかってしまう。

処　置：読み取り時の解像度を下げて送信してください。

原因３：1 枚の原稿を受信するのに時間がかかってしまう。

処　置：相手先に、読み取り時の解像度を下げるか、原稿を分けて送信するように連絡してください。

#0005

原因１：手動送信の際、相手先のファクスが 35 秒以内に応答しない。

処　置：もう一度原稿を送ってください。相手先に連絡して、先方のファクスをチェックしてもらってください。海外に送信する場合は、ファクス／電話番号の前にポーズを入れてください。（→ P.4-15「海外にファクスを送る（ポーズの挿入）」）

原因２：相手先のファクスが G3 ファクスではない。

処　置：相手先に連絡して、原稿を G3 ファクスに送ってください。相手先に G3 ファクスがない場合は、先方が対応できるモードまたは通信速度で原稿を送ってください。（→ P.8-3「メニューの設定内容」の< 3. ソウシン　スタート　スピード >）

#0009

原　因：用紙がないか記録紙カセットが正しくセットされていない。

処　置：用紙を補給するか、あるいはカセットを正しくセットし直してください。

#0012

原　因：相手先のファクスの用紙がなくなっているか、メモリがいっぱいになっている。

処　置：相手先に連絡して、用紙を補充してもらってください。

#0018

原　因：何度か（初期設定では２回）リダイヤルしても、相手先が応答しない。または、相手先のファクスが 55 秒以内にファクス受信の対応をしなかった。

処　置：しばらく待ってから再送信してください。それでも送れないときは、相手先に連絡して、先方のファクスが電源に接続されているかを確認してください。相手先のファクスが話し中のときは、後で原稿を送り直してください。

0022

原　因：短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルを使ってファクス送信操作をした場合、そのファクスジョブが待機中に、相手先の短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルに登録されたファクス／電話番号を削除した。

処　置：待機中に相手先のファクス／電話番号が削除されると、ファクス送信ができません。ファクス送信はエラーになり、エラー送信レポートが出力されます。ファクスを送りたいときは、送信操作をやり直してください。待機中のファクスジョブを取り消したいときは、［システムモニタ］を押して取り消してください。

#0037

原　因：メモリがいっぱいになっている。

処　置：メモリに蓄積された原稿をプリントするか、［システムモニタ］を押して、ジョブを取り消してください。

#0046

原　因：メニューの＜４．ファクス　シヨウ　セッテイ＞の＜２．キホン　セッテイ＞で＜５．ＤＭ　セイゲン＞が＜スル＞に設定されているときに、TSI 情報（送信先識別）を持たないファクスが送られた。

処　置：＜５．DM　セイゲン＞が＜スル＞に設定されていると、TSI 情報（送信先識別）を持たないファクス機からの送信は受信できません。TSI 情報（送信先識別）を持たないファクス機からの送信も受信したいときは＜５．ＤＭ　セイゲン＞を＜シナイ＞に設定してください。お買い求め時は＜シナイ＞に設定されています。

メモ

- ＜５．DM　セイゲン＞が設定されていると、送信元ファクスより TSI 情報（送信先識別）がない状態でファクス送信された場合にエラー（#0046）終了します。

#0995

原　因：通信予約が消去された。

処　置：必要に応じて、もう一度はじめから送信し直してください。

ファクスのトラブル

送信時のトラブル

ファクスが送れない

原因 1：本製品が過熱していますか？

処　置：電源コードをコンセントから抜いて 5 分ぐらい熱が冷めるのを待ちます。もう 1 度電源につないで、送信してみてください。

原因 2：電源コードを接続したばかりですか？

処　置：少しお待ちください。電源コードの接続直後は原稿を読み取れません。

原因 3：電話の回線種別（ダイヤル／プッシュ）が正しく設定されていますか？

処　置：正しい電話回線種別（ダイヤル／プッシュ）に設定されているかどうか確認してください。（→ P.2-9「電話回線の種類を設定する」）

原因 4：原稿がセットされていますか？

処　置：原稿を取り出して、必要ならば端をそろえて、原稿台ガラスまたは ADF に正しくセットしてください。（→「ユーザーズガイド」「第 3 章　原稿の取り扱い」）

原因 5：送信したい相手先の番号がワンタッチダイヤルまたは入力した短縮ダイヤルに登録されていますか？

処　置：ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルが正しく登録されているかどうか確認してください。（→ P.3-2「ワンタッチダイヤルを登録する」、→ P.3-5「短縮ダイヤルを登録する」）

原因 6：正しい番号にかけましたか？　または、教えられた電話番号が間違っていませんか？

処　置：再度その番号にかけるか、番号が正しいかどうか確認してください。

原因 7：節電モードになっていませんか？

処　置：節電モードになっていると本製品は原稿を読み込みません。[節電] を押して節電モードを解除してください。

原因８：相手のファクスは用紙がありますか？

処　置：相手に電話をして、ファクスに用紙がセットされていることを確認してください。

原因９：送信中にエラーが起きましたか？

処　置：通信管理レポートをプリントして、エラーの有無を確認してください。（→ P.6-3「通信管理レポートをプリントする」）

原因10：電話回線はきちんと接続されていますか？

処　置：［オンフック］を押すか、本製品に接続された外付け電話機のハンドセットを上げて、発信音が聞こえるかどうか確認してください。発信音が聞こえない場合は、お近くの電話会社にご連絡ください。

原因11：受信側のファクスは G3 または G4 ファクスですか？

処　置：受信側のファクスが本製品と互換性があるか（G3 または G4 ファクスであるかどうか）を確認してください。

原因12：相手の電話が話し中か、相手のファクスの電源が入っていない場合があります。エラー送信レポートに「話し中でした」と表示されていますか？

処置１：かけたファクス番号／電話番号が話し中です。あとで再度送ってみてください。

処置２：相手のファクスが動いていません。相手に連絡して、調べてもらってください。

原因13：受信側のファクスは 55 秒以内に応答しましたか？（自動リダイヤル後に）

処　置：相手に連絡して、ファクスを調べてもらってください。海外にファクスを送る場合は、ファクス／電話番号にポーズを追加してください。（→ P.4-15「海外にファクスを送る（ポーズの挿入）」）

原因14：［通信中／メモリ］ランプが点灯していますか？

処　置：外付け電話機が通話中のとき、［通信中／メモリ］ランプが点灯することがあります。外付け電話機の通話が終了するまでお待ちください。

相手に送ったファクスにしみや汚れがある

原因１：本製品（送信側のファクス）は正しく動作していますか？

処　置：コピーをとって、本製品をチェックします。詳細は「ユーザーズガイド」「第 5 章　コピーするには」を参照してください。
コピーがきれいな場合は、受信側のファクスに問題がある可能性があります。コピーにしみや汚れがある場合は、本製品の原稿台ガラスまたは読み取りエリアを清掃してください。詳細は「ユーザーズガイド」「第８章　日常のメンテナンス」を参照してください。

原因２：原稿は正しく読み込まれてますか？

処　置：原稿が原稿台ガラスまたは ＡＤＦ に正しくセットされているか確認してください。
詳細は「ユーザーズガイド」の「第３章　原稿の取り扱い」を参照してください。

ECM（Error Correction Mode：自動誤り訂正モード）で送信できない

原　因：受信側のファクスは ECM に対応していますか？

処　置：受信側のファクスが ECM に対応していない場合は、エラーチェックをしない通常モードで原稿が送信されます。

送信中にエラーが頻繁に起きる

原　因：電話回線は適切な状態ですか？ 接続状態は良好ですか？

処　置：通信速度を下げてください。（→ P.8-3「メニューの設定内容」の＜ 3. ソウシン　スタート　スピード＞）

受信時のトラブル

ファクスを自動受信できない

原因１：自動受信するように設定されていますか？

処　置：ファクスを自動受信するためには＜ジドウ＞、＜ FAX/TEL ＞、＜ルス TEL ＞のいずれかに設定されていなければなりません。(→P.5-1「受信モードを設定する」)
＜ルス TEL ＞にセットされているときは、留守番電話が本製品に正しく接続され、電源が入っていて応答メッセージが録音されていることを確認してください。
＜ 4. ファクス　シヨウ　セッテイ＞で＜ 4. ジドウ　ジュシン　キリカエ＞が＜スル＞に設定されているときは、受信モードが＜シュドウ＞に設定されていても、本製品は自動的にファクスを受信します。（→ P.8-5「メニューの設定内容」の＜ 4. ジドウ　ジュシン　キリカエ＞）

原因２：メモリがいっぱいですか？

処　置：メモリに保存されているファクスやプリントジョブが終了するまで待ち、相手にファクスを再送信するように依頼してください。

原因３：受信中にエラーが起きましたか？

処　置：通信管理レポートをプリントし、エラーを確認してください。（→ P.6-3「通信管理レポートをプリントする」）
また、受信結果レポートが自動的にプリントされたときに受信結果レポートを確認することもできます（→ P.6-7「受信結果レポートを設定する」）。エラーの内容を確認し、適切な処置をして下さい。

原因４：電話回線がきちんと接続されていますか？

処　置：すべての回線がきちんと接続されていることを確認してください。（→「スタートアップガイド」「電話線を接続する」）

電話とファクス受信が自動的に切り替わらない

原因１：ファクスと電話を自動的に切り替える設定になっていますか？

処　置：自動的に切り替えさせるためには、受信モードを＜ルス TEL ＞に設定する必要があります。（→ P.5-5「留守番電話機を接続して受信する：ルス TEL」）
留守番電話が本製品に正しく接続され、電源が入っていて応答メッセージが録音されていることを確認してください。

原因２：相手機が、受信信号がファクスであることを本製品に知らせる切換信号を送信することが可能ですか？

処　置：ファクス機によっては、受信信号がファクスであることを本製品に知らせる切換信号を送信することができません。その場合は、手動でファクスを受信する必要があります。外付け電話からのリモート受信も可能です。（→ P.5-6「手動で受信する：シュドウ」）

原稿を手動受信できない

原　因：ハンドセットを置いた後で［白黒スタート］を押していませんか？

処　置：ハンドセットを置く前に［ファクス］を押しファクスモードにしてから［白黒スタート］を押してください。先にハンドセットを置くと、通話が切れてしまいます。

印字品質が悪い

原因１：正しい種類の用紙を使っていますか？

処　置：本製品に適した用紙をセットしているかどうか確認してください。詳細は「ユーザーズガイド」の「第２章　用紙の取り扱い」を参照してください。

原因２：送信側のファクスは正しく動作していますか？

処置１：通常、ファクスの品質を左右するのは送信側のファクスです。相手に電話をして、ファクスの原稿読み取りガラスが汚れていないかどうか確認してください。

処置２：相手に連絡して、送信側のファクスの解像度を上げて再送信してもらうことで印字品質が改善されることがあります。

原因３：<Ｘカートリッジ　モウスグ　コウカン*>または<Ｘカートリッジヲ　コウカン*>が表示されていませんか？

処　置：トナーカートリッジを交換してください。
*X には色が入ります。（K：ブラック、C：シアン、M：マゼンタ、Y：イエロー）

原因４：トナーセーブモードに設定されていませんか？

処　置：<２. キョウツウ　キノウ　セッテイ>の<３. シロクロプリント　トナーセーブ>を<シナイ>に設定してください。（→「ユーザーズガイド」「第１０章　各種機能を登録する／設定する」）

ファクスがプリントされない

原因１：トナーカートリッジがきちんと装着されていますか？

処　置：トナーカートリッジがきちんと装着されているかどうか確認してください。（→「ユーザーズガイド」「第８章　日常のメンテナンス」）

原因２：トナーカートリッジのシーリングテープは取ってありますか？

処　置：トナーカートリッジからシーリングテープを抜き取ってください。（→「ユーザーズガイド」「第８章　日常のメンテナンス」）

原因３：トナーカートリッジにトナーが残っていますか？

処置１：新しいトナーカートリッジに交換してください。（→「ユーザーズガイド」「第８章　日常のメンテナンス」）

処置２：メニューの<４. ファクス　シヨウ　セッテイ>から<５. ジュシンキノウセッテイ>を選択し、<７. インジ　ケイゾク>を<スル>に設定してください。この場合は、トナーがなくなっても原稿はメモリに蓄積されません。（→ P.8-6「メニューの設定内容」の<７. インジ　ケイゾク>）

原因４：カセットに正しい用紙がセットされていますか？

処置１：用紙がカセットにセットされているかどうか確認してください。（→「ユーザーズガイド」「第２章　用紙の取り扱い」）

処置２：正しいサイズの用紙をセットするか、メニューの<１．ヨウシセッテイ>で<１．ヨウシサイズ>を変更してください。詳細は以下を参照してください。

- 「ユーザーズガイド」「第２章　用紙の取り扱い」
- 「ユーザーズガイド」「第５章　コピーするには」

受信したファクスにしみやむらがある

原因１：電話回線は適切な状態ですか？ 接続状態は良好ですか？

処　置：送受信に ECM （Error Correction Mode) を使えば、このようなトラブルは解消されます。ただし、電話回線の状態が悪い場合は、再度受信しなければならないこともあります。相手に電話をして、再送信してもらってください。

原因２：送信側のファクスは正しく動作していますか？

処　置：通常、ファクスの品質を左右するのは送信側のファクスです。相手に電話をして、ファクスの原稿読み取りガラスが汚れていないかどうか確認してください。

ECM で受信できない

原　因：送信側のファクスは ECM に対応していますか？

処　置：送信側のファクスが ECM に対応していない場合は、エラーチェックをしない通常モードで原稿が受信されます。

受信中にエラーが頻繁に起きる

原因１：電話回線の状態は良好ですか？正しく接続されていますか？

処　置：受信速度を下げてください。（→ P.8-3「メニューの設定内容」の<４．ジュシン　スタート　スピード>）

原因２：送信側のファクスは正しく動作していますか？

処　置：相手に電話をして、ファクスが適切に動作しているかどうか確認してもらってください。

電話のトラブル

電話がかけられない

原因 1：電話回線がきちんと接続されていますか？

処　置：すべての回線がきちんと接続されていることを確認してください。（→「スタートアップガイド」「電話線を接続する」）

原因 2：電話回線種別（ダイヤル／プッシュ）が正しく設定されていますか？

処　置：正しい電話回線種別 (ダイヤル／プッシュ）に設定されているかどうか確認してください。（→ P.2-9「電話回線の種類を設定する」）

通話中に電話が切れてしまう

原　因：電話回線がしっかり接続されていますか？

処　置：電話機コードが、本製品の接続端子、電話回線コンセント、電話機の差し込み口にしっかり接続されているかどうか確認してください。（→「スタートアップガイド」「電話線を接続する」）

正しく接続されない、間違った相手に接続される

原　因：相手先の電話暗号を入れる前にダイヤルトーン（ツー音）を確認しましたか？

処　置：番号を入れる前に、ダイヤルトーン（ツー音）を確認してください。確認しないで発信すると正しく接続されないか、間違った相手に接続されることがあります。

停電のときには

本製品は、停電が起きたり、電源コードが抜けたりして突然電力の供給が途絶えても、内蔵バッテリーによりメニューの設定内容や宛先登録されたファクス／電話番号などは記憶されています。メモリ内に保存された送受信原稿は 40 分間（製品は初期状態であり、バッテリーが充分に充電されているとき）はそのまま保存されます。

電力供給が途絶えている間の機能は、以下のように制限されます。

- ファクスの送受信、コピー、スキャン、プリントはできません。
- 本製品に接続された電話機で、電話をかけられない場合があります（電話機の種類によって異なります）。
- 本製品に接続された電話機で、電話を受けることは可能です（電話機の種類によって異なります）。

FAX 送受信中や、原稿読取中に停電した場合は、途中で停止します。FAX 送信時、原稿読取後、メモリ送信中に停電した場合は、停電復旧後に直ちに再送信します。

原稿読取中に停電した場合、本体動作は停止し、停電復旧後はエラーランプが点滅し、ディスプレイに<ゲンコウヲ　テンケン　シテクダサイ>が表示されます。原稿の排出については「ユーザーズガイド」の「第９章　困ったときには」を参照してください。

トラブルが解決しない場合

本製品にトラブルが発生し、この章と「ユーザーズガイド」「第９章　困ったときには」の説明でも解決できない場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様センターにご連絡ください。

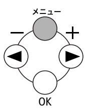
各種機能を登録する／設定する

8
CHAPTER

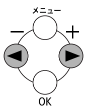
登録／設定メニューで使用できる各種設定について説明します。設定項目や値の一覧も記載されています。

登録／設定メニューを使う

設定の変更は次の手順で行います。

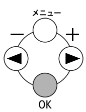


1 **［メニュー］を押します。**



2 **［◀ (-) ］または［ ▶ (+) ］を押して変更するメニューを選択し、［OK］を押します。**

設定項目が表示されます。



3 **［◀ (-)］または［ ▶ (+)］を押して変更する項目を選択し、［OK］を押します。**

メモ
- 各メニュー項目については、「メニューの設定内容」（→ P.8-2）を参照してください。
- ［OK］を押す前に［ストップ／リセット］を押すと、選択した項目は登録されません。
- ［ストップ／リセット］を押すと、待受画面に戻ります。
- ［メニュー］を押すと、前の画面に戻ります。

メニューの設定内容

メモ
- 設定を変更する前に、ユーザデータリストをプリントして、現在の設定を確認してください。（→ P.6-9「ユーザデータリストをプリントする」）
- ネットワーク設定の詳細については、「ネットワークガイド」「第３章　付録」を参照してください。

用紙設定

「ユーザーズガイド」「第 10 章　各種機能を登録する／設定する」を参照してください。

共通機能設定

「ユーザーズガイド」「第 10 章　各種機能を登録する／設定する」を参照してください。

コピー仕様設定

「ユーザーズガイド」「第 10 章　各種機能を登録する／設定する」を参照してください。

ファクス仕様設定

（**太字**は工場出荷時の設定です。）

設定項目	設定内容
1. ｼﾞｭｼﾝﾓｰﾄﾞ	ファクスと電話をどのように受信するかを設定します。
ｼﾞﾄﾞｳ	ファクスを自動的に受信します。電話の場合でも自動的に受信動作に移行した後に通信を切断します。（→ P.5-2「自動で受信する」）
FAX/TEL	ファクスと電話を自動的に切り替えます。ファクスの場合は自動的に受信し、電話のときは呼出音を鳴らします。
ﾙｽ TEL	ファクスは自動的に受信し、電話は留守番電話が用件を録音します。
ｼｭﾄﾞｳ	接続された電話機の着信音が常に鳴ります。ファクスの場合は手動で受信します。
2. ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ	ファクスモードの基本操作を設定します。
1. ﾃﾞﾝﾜ ｶｲｾﾝ ｾｯﾃｲ	電話回線の設定を行います。

8

各種機能を登録する／設定する

設定項目	設定内容
1. ﾕｰｻﾞ TEL ﾄｳﾛｸ	発信元の電話番号を 20 桁以内（スペース含む）で登録できます。（→ P.2-7「発信元番号と発信元略称を登録する」）登録できる文字の種類は、数字（0 ～ 9）と [+] とスペースです。
2. ｶｲｾﾝ ｼｭﾙｲ ｾﾝﾀｸ	電話回線種別を選択します。
ﾀﾞｲﾔﾙ ｶｲｾﾝ	ダイヤル回線を使用しているときに選択します。20 PPS、10 PPS のどちらかを選択します。
ﾌﾟｯｼｭ ｶｲｾﾝ	PB 回線（プッシュ回線）を使用しているときに選択します。
3. ｿｳｼﾝ ｽﾀｰﾄ ｽﾋﾟｰﾄﾞ	原稿を送信するときの通信スピードを設定します。33600 bps/14400 bps/9600 bps/7200 bps/4800 bps/2400 bps の中から選択できます。
4. ｼﾞｭｼﾝ ｽﾀｰﾄ ｽﾋﾟｰﾄﾞ	原稿を受信するときの通信スピードを設定します。33600 bps/14400 bps/9600 bps/7200 bps/4800 bps/2400 bps の中から選択できます。
2. ﾕｰｻﾞ ﾘｬｸｼｮｳ ﾄｳﾛｸ	発信元の名前または会社名を 24 文字以内（スペース含む）で登録できます。 登録できる文字の種類は、半角カタカナ／英数字／記号 です。 （→ P.2-7「発信元番号と発信元略称を登録する」）
3. ﾊｯｼﾝﾓﾄ ｷﾛｸ	発信元情報の設定を選択します。
ﾂｹﾙ	発信元情報を相手先の記録紙上部に印字します。
1. ﾊｯｼﾝﾓﾄ ｷﾛｸ ｲﾁ	発信元記録を印字する場所を設定します。 **ｶﾞｿﾞｳﾉ ｿﾄﾆ ﾂｹﾙ**：画像枠の外に印字します。 ｶﾞｿﾞｳﾉ ﾅｶﾆ ﾂｹﾙ：画像枠の中に印字します。
2. ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾏｰｸ	発信元番号の頭に FAX か、TEL どちらかを表示させることができます。
ﾂｹﾅｲ	発信元情報は印字されません。
4. ｵﾌﾌｯｸｱﾗｰﾑ	ハンドセットが外れたままになっている場合に知らせるオフフックアラームを設定します。
ﾅﾗｽ	送受信後に本製品に接続された電話機のハンドセットが外れていると、オフフックアラームが鳴ります。
ﾅﾗｻﾅｲ	オフフックアラームは鳴りません。
5. DM ｾｲｹﾞﾝ	TSI（送信先識別）信号を使って受信するかを設定します。
ｼﾅｲ	すべて受信します。
ｽﾙ	TSI 信号を使って送信したファクスのみを受信します。
3. ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ	レポート出力機能に関する設定を行います。
1. ｿｳｼﾝｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ	送信結果レポートの自動プリントを設定します。

設定項目	設定内容
ｴﾗｰｼﾞ ﾉﾐ ﾌﾟﾘﾝﾄ	送信中にエラーが発生したとき、またはリダイヤルアウトした時に送信結果レポートをプリントします。 **ﾂｹﾅｲ**：送信原稿の最初のページの一部の画像をつけてプリントしません。 ﾂｹﾙ：送信原稿の最初のページの一部の画像をつけてプリントします。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ	原稿送信時に毎回レポートをプリントします。 **ﾂｹﾅｲ**：送信原稿の最初のページの一部の画像をつけてプリントしません。 ﾂｹﾙ：送信原稿の最初のページの一部の画像をつけてプリントします。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾅｲ	送信結果レポートをプリントしません。
2. ｼﾞｭｼﾝｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ	受信結果レポートの自動プリントを設定します。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾅｲ	受信結果レポートをプリントしません。
ｴﾗｰｼﾞ ﾉﾐ ﾌﾟﾘﾝﾄ	受信中にエラーが発生したときのみ受信結果レポートをプリントします。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ	原稿受信時に毎回レポートをプリントします。
3. ﾂｳｼﾝｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ	20 回通信（送信と受信）するたびに通信管理レポートを自動的にプリントするかどうかを設定します。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ	20 回通信するたびに通信管理レポートをプリントします。
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾅｲ	通信管理レポートをプリントしません。
4. ｿｳｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ	送信機能を設定します。
1. ECM ｿｳｼﾝ	ECM（Error Correction Mode：自動誤り訂正モード）による送信を設定します。
ｽﾙ	相手のファクスが ECM 対応の場合、すべての送信を ECM で行います。
ｼﾅｲ	ECM をオフにします。
2. ﾎﾟｰｽﾞ ｼﾞｶﾝ ｾｯﾄ	ダイヤル時に間に入れるポーズの長さを設定します。 1 ﾋﾞｮｳ～ 15 ﾋﾞｮｳ （**2 ﾋﾞｮｳ**）
3. ｼﾞﾄﾞｳ ﾘﾀﾞｲﾔﾙ	相手の電話回線が話し中や応答がないとき、自動リダイヤルを実行するかどうかを設定します。
ｽﾙ	リダイヤル動作の設定を行います。
1. ﾘﾀﾞｲﾔﾙ ｶｲｽｳ	リダイヤルの回数を設定します。1 ｶｲ～ 10 ｶｲ（**2 ｶｲ**）
2. ﾘﾀﾞｲﾔﾙ ｶﾝｶｸ	リダイヤルの間隔を設定します。2 ﾌﾝ～ 99 ﾌﾝ（**2 ﾌﾝ**）
ｼﾅｲ	初回にかからなかったら、リダイヤルしません。
4. ﾀﾞｲﾔﾙﾀｲﾑｱｳﾄ	ファクス番号を入力したあとに、[白黒スタート] を押さなくても自動的に原稿の読み取りを開始するかどうかを設定します。テンキー入力の場合は、[OK] キーで確定してから 5 ～ 10 秒後に自動的に読み取りが開始されます。

設定項目	設定内容
ｽﾙ	ファクス番号を入力してから 5 〜 10 秒後に自動的に読取りが開始されます。 テンキー入力の場合は、[OK] キーで確定してから 5 〜 10 秒後に自動的に読み取りが開始されます。
ｼﾅｲ	[白黒スタート] を押して原稿を読み取ります。押さないとオートクリア機能が働いて、1 分後にディスプレイの表示は待受画面に戻ります。
5. ﾀﾞｲﾔﾙｼﾞ ｶｲｾﾝｶｸﾆﾝ	ダイヤル時に回線確認するかどうかを設定します。
ｽﾙ	ダイヤル時に回線確認を行います。
ｼﾅｲ	ダイヤル時に回線確認を行いません。
5. ｼﾞｭｼﾝ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ	受信機能を設定します。
1. ECM ｼﾞｭｼﾝ	ECM（Error Correction Mode）による受信を設定します。
ｽﾙ	相手のファクスが ECM 対応の場合、すべての受信を ECM で行います。
ｼﾅｲ	ECM で受信しません。
2. F/T ｼｮｳｻｲ ｾｯﾃｲ	FAX/TEL モードに設定すると、以下のオプション項目を設定できます。
1. ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｼ ｼﾞｶﾝ	着信に応答してから呼出音を鳴らすまでの時間を設定します。 0 ﾋﾞｮｳ〜 30 ﾋﾞｮｳ（6 ﾋﾞｮｳ）
2. ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ	呼出音を鳴らす時間を設定します。 15 ﾋﾞｮｳ〜 300 ﾋﾞｮｳ（15 ﾋﾞｮｳ）
3. ﾖﾋﾞﾀﾞｼｺﾞ ﾉ ﾄﾞｳｻ	FAX/TEL モードの呼出時間が経過した後の対応を選択します。
ｼﾞｭｼﾝ	自動的にファクス受信モードに切り替えて、ファクス受信を開始します。
ｼｭｳﾘｮｳ	通信を切断します。
3. ﾁｬｸｼﾝ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ	自動受信モードまたは FAX/TEL モードに設定されている場合、電話着信時に外付け電話機の呼出音を鳴らして電話に応答できるようにするかどうかを設定します。
ｼﾅｲ	着信時、電話機は呼出音を鳴らしません。 接続されている外付け電話機の種類によっては呼出音が鳴る場合があります。
ｽﾙ	外付け電話が接続されている場合は、着信時に呼出音を鳴らします。 呼び出し回数：1 〜 99 ｶｲ（2 ｶｲ）
4. ｼﾞﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ ｷﾘｶｴ	手動受信モードの場合、指定された時間呼出音が鳴った後で、受信モードに切り替えるかどうかを設定します。

設定項目	設定内容
ｼﾅｲ	受信モードに切り替わりません。本製品に接続された電話機に手動で応答するか［オンフック］を押すまで、呼出音が鳴り続けます。
ｽﾙ	指定時間呼出音が鳴ってから、受信モードに切り替わります。 ﾖﾋﾞﾀﾞｼｼﾞｶﾝ：1 〜 99 ﾋﾞｮｳ（15 ﾋﾞｮｳ）
5. ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ	リモート受信を設定します。
ｽﾙ	リモート受信を行います。 テンキーでリモート受信 ID を入力します。使用できるキーは［0］〜［9］、［＃］、［＊］です。 ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ ID：00 〜 99（25）
ｼﾅｲ	リモート受信を行いません。
6. ｶﾞｿﾞｳ ｼｭｸｼｮｳ	ファクスを縮小して受信します。
ｽﾙ	画像を縮小して受信します。
1. ｼｭｸｼｮｳ ﾓｰﾄﾞ ｾﾝﾀｸ	**ｼﾞﾄﾞｳ**：縮小率は自動的に設定されます。 ｺﾃｲ：あらかじめ縮小率を設定しておきます。 97 %、95 %、90 %、75 %
2. ｼｭｸｼｮｳ ﾎｳｺｳ ｾﾝﾀｸ	**ﾀﾃ ﾉﾐ**：縦方向のみ縮小します。 ﾀﾃ ﾖｺ ﾄﾓ：縦方向、横方向ともに縮小します。
ｼﾅｲ	受信時に画像を縮小しません。
7. ｲﾝｼﾞ ｹｲｿﾞｸ	トナーが残り少なくなったときに印字を続けるかどうかの設定をします。
ｼﾅｲ	ファクスをすべてメモリ受信します。
ｽﾙ	トナー切れの場合でもメモリ受信しません。トナーカートリッジ交換後は＜ｼﾅｲ＞に設定してください。
6. ｼｽﾃﾑ ｶﾝﾘ ｾｯﾃｲ	ファクスモードの画質の初期設定をします。
1. FAX ﾎｰﾑﾎﾟｼﾞｼｮﾝ	ファクス機能の初期設定を行います。
1. ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ	標準の読み取り濃度を設定します。
ﾌﾂｳ	標準的な原稿に適しています。
ｺｸ	薄い原稿に適しています。
ｳｽｸ	濃い原稿に適しています。
2. ｶｲｿﾞｳﾄﾞ	ファクスの解像度を設定します。
ﾋｮｳｼﾞｭﾝ	文字のみのほとんどの原稿に適しています。
ﾌｧｲﾝ	文字の小さな原稿に適しています。
ｼｬｼﾝ	写真を含む原稿に適しています。
ｽｰﾊﾟｰﾌｧｲﾝ	小さい文字や画像を含む原稿に適しています（＜ﾋｮｳｼﾞｭﾝ＞の 4 倍の解像度）。
ｳﾙﾄﾗﾌｧｲﾝ	小さい文字や画像を含む原稿に適しています（＜ﾋｮｳｼﾞｭﾝ＞の 8 倍の解像度）。

（太字は工場出荷時の設定です。）

宛先登録設定

設定項目	設定内容
1. ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲﾔﾙ	ワンタッチダイヤルを登録します。（→ P.3-2「ワンタッチダイヤルを登録する」）最大 19 箇所登録できます。
1. ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ	相手のファクス／電話番号を登録します。（スペースとポーズを含め 120 桁以内）
2. ﾅﾏｴ	相手の名前を登録します。（スペースを含め 16 文字以内）
2. ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲﾔﾙ	短縮ダイヤルを登録します。（→ P.3-5「短縮ダイヤルを登録する」）最大 100 箇所登録できます。
1. ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ	相手のファクス／電話番号を登録します。（スペースとポーズを含め 120 桁以内）
2. ﾅﾏｴ	相手の名前を登録します。（スペースを含め 16 文字以内）
3. ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ	グループダイヤルを登録します。（→ P.3-7「グループダイヤルを登録する」） 最大 118 箇所を登録できます。
1. ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ	ワンタッチダイヤル番号または短縮ダイヤル番号を指定して、相手のファクス／電話番号を登録します。
2. ﾅﾏｴ	グループの名前を登録します。（スペースを含め 16 文字以内）

ネットワーク設定

「ネットワークガイド」「第 2 章　ネットワークを設定する」を参照してください。

プリンタ仕様設定

「ユーザーズガイド」「第 4 章　プリンタとして使う」を参照してください。

タイマー設定

「ユーザーズガイド」「第 10 章　各種機能を登録する／設定する」を参照してください。

レポート／リスト

設定項目	設定内容
1. ﾂｳｼﾝｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ	通信管理レポートをプリントします。20 件通信するごとに自動的にプリントさせることもできます。 (→ P.6-3「通信管理レポート」、P.8-3 < 3. ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ>)
2. ﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルに短縮ダイヤルに登録されたファクス／電話番号をプリントします。
1. ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ 1	ワンタッチダイヤルに登録されているファクス／電話番号のリストをプリントします。
2. ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ 1	短縮ダイヤルに登録されているファクス／電話番号のリストをプリントします。
3. ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ	グループダイヤルに登録されているファクス／電話番号のリストをプリントします。
3. ﾕｰｻﾞ ﾃﾞｰﾀﾘｽﾄ	メニューで設定、登録された内容をプリントします。 (→ P.6-9「ユーザデータリストをプリントする」)

メンテナンス

「ユーザーズガイド」「第 8 章　日常のメンテナンス」を参照してください。

9
CHAPTER

付録

本製品のファクス機能の仕様と索引です。

仕様

商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。

普通紙ファクス

使用回線	公衆電話網（PSTN）
通信モード	G3、G3-ECM
圧縮方法	MH、MR、MMR、JBIG 方式
モデム速度	33.6、31.2、28.8、26.4、24、21.6、19.2、16.8、14.4、12、9.6、7.2、4.8、2.4 kbit/s（自動フォールバック）
送信速度	約 3 秒／ページ*（33.6 kbit/s、ECM-JBIG、メモリからの送信時） * キャノン FAX 標準チャート No.1 基準、標準モードに基づいて算出 * 一般の電話回線では、回線の条件状況により、33.6 kbit/s 以下の送信速度になる場合があります。
送受信メモリ	送信：最大約 256 ページ* 受信：最大約 256 ページ* * キャノン FAX 標準チャート No.1 基準、標準モードに基づいて算出
解像度	標準モード：8 画素 /mm x 3.85 本 /mm ファインモード：8 画素 /mm × 7.7 本 /mm 写真モード：8 画素 /mm × 7.7 本 /mm スーパーファインモード：8 画素 /mm × 15.4 本 /mm ウルトラファインモード：16 画素 /mm × 15.4 本 /mm

ダイヤル方式	オートダイヤル機能 　ワンタッチダイヤル（最大 19 箇所） 　短縮ダイヤル（最大 100 箇所） 　グループダイヤル（ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルとを合わせて最大 118 箇所） 　電話帳ダイヤル 通常のダイヤル（テンキーを使用） 自動リダイヤル 手動リダイヤル（リダイヤル／ポーズキーを使用）
通信機能	同報送信（最大 120 箇所） 自動受信 無鳴動着信：あり リモート受信（初期 ID：25） 通信管理レポート（20 通信ごと） 送信結果／受信結果レポート 発信元記録（TTI: Transmit Terminal Identification）

電話

接続可能な電話	電話／留守番電話（切換え検出信号）

索引

記号

英数字

あ

か

さ

た

9

付録

な

は

ま

や

ら

わ

本書は、本文に70%の
再生紙を使用しています。

消耗品のご注文先

販 売 先	
電話番号	
担当部門	
担 当 者	

サービス担当者 連絡先

販 売 店	
電話番号	
担当部門	
担 当 者	

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
（全国共通番号）　**050-555-90024**

[受付時間]　〈平日〉9:00～20:00
〈土日祝祭日〉10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9627 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

FA7-9169　(010)

PRINTED IN CHINA